新春特集

2018.1
No. 149

あきた建築士会ニュース

秋田市　旧秋田藩主佐竹氏別邸　如斯亭

一般社団法人　秋田県建築士会

旧秋田藩主佐竹氏別邸（如斯亭）

作品の優れた点、または、設計趣旨

■修復整備工事の目的

・国指定名勝「旧秋田藩主佐竹氏別邸（如斯亭）庭園」において、藩主の御休所や迎賓館として用いられた歴史ある建物を将来にわたって保存活用するために、重要文化財建造物と同様の手法による半解体修理を行った。

■工事の配慮事項

・庭園の本格的整備が完成した９代藩主佐竹義和公時代（寛政５年（1793）頃）の姿を基本に、近世以降に改変された部分の除去と、欠失部分の補修を行った。

・半解体時に部材個々の製材痕跡や釘穴等の調査を行い、改変の履歴を確認した。

・部材等の取り替えは、茅葺屋根の葺き替えや腐食した地際部分などの最小限とした。

・自動火災報知器を設置したほか、屋外に放水銃・消火栓・避雷針を設置した。また、補修した壁面や小屋裏に耐震補強を施した。

・庭園全体の修復整備として、清音亭（こけら葺きの御茶屋）の修復、御萱門等の欠失建物の復元、植栽や流れの修景、管理棟等の便益施設の整備を行った。

秋田中央建築士会　　田畑　治夫

目　次

新年を迎えて　新年のごあいさつ……一般社団法人秋田県建築士会会長　淡　路　孝　次… 2

年頭のごあいさつ……秋田県建設部長　柴　田　公　博… 3

新年のご挨拶……秋田県建設部建築住宅課長　高　橋　史　志… 4

建築士大会　第 42 回 一般社団法人 秋田県建築士会大会 大館・北秋田大会 …… 5

主催者あいさつ…… 6

青年委員長あいさつ…… 7

歓迎のあいさつ…… 8

◇総評…… 9

◇フォーラム　― 講演会 ……10

◇まち歩き及び発表会……11

優良建築物見学会　平成 29 年度　優良建物見学会 ……14

・大館樹海ドーム（ニプロハチ公ドーム）……14

・桜櫓館（国登録有形文化財）……15

・大館市立　鳥潟会館……16

地域貢献活動　親子体験学習「気持ちのいい家つくろう」in 湯沢雄勝 ……17

投稿だより　「建築相談会」を実施して ……18

第 60 回建築士会全国大会京都大会 ……19

第 60 回建築士会全国大会京都大会（報告）……21

定期講習会　建築士定期講習のお知らせ……23

会務報告 ……24

地域会だより ……26

誌上年賀 ……30

新入会員紹介　新入会員からのメッセージ……42

事務局だより ……43

編集後記 ……50

新年を迎えて

新年のごあいさつ

一般社団法人秋田県建築士会会長　**淡　路　孝　次**

新年あけましておめでとうございます。

平成30年戌年の始まりに当たり会員の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年は前・湯沢会長の勇退に伴い、私が会長に就任させていただくこととなりましたが、会員の皆様や理事役員の皆様、事務局の御協力の下、どうにか半年が過ぎたところです。

この半年の間、社会情勢の変化や自然災害の発生など直接的にもまた間接的にも建築と関わる事象が沢山ありました。秋田県内のみのことを考えましても９月に震度５を記録した内陸地震、又７月23日には県内各地に豪雨による被害が発生しております。幸い豪雨による人的被害が無かったことが何よりです。しかし当日は一級建築士試験の日で一部道路の通行止めにより試験会場に到着できず、受験できなかった方が多数おり、一年間の努力を発揮できなかった仲間がいたことは真に残念の極みでした。

また東北ブロック会議を始め対外的に会長として出席する機会が多くあり、岩手・山形・北海道・京都と出張し緊張する半年でもありました。一方嬉しいことも沢山ありました。

女性委員会主催の親子体験学習「気持ちのいい家をつくろう」が湯沢市で開催され見学しました。そこでの女性委員会の活動が親子の微笑ましい触れ合いに貢献している状況をつぶさに見られ、胸にこみ上げる嬉しさを感じました。さらに、本年秋田県で始めて「歴町法」で認定された大館市で全県大会大館北秋田大会が開催され、地域会の皆様や青年委員会の皆様の活動・行動力を目の当たりにし、感動を覚えたのが昨日の事のようであります。ご来賓の皆様からも同様のご評価を賜りましたことは会長として真に誉れでもありました。

士会内部的には、会長会議を初めて開催し、意見交換を行いました。また二度の理事会で県内各地域の理事役員の皆様と意見交換を行い運営に当たってまいりました。理事会や会長会議に諮る議題は多方面にわたり、個人的に全てを詳細に正確に把握し切れてないと感じております。特に新しい法制度の元、連合会などから検討･執行依頼されている事案には、積極的に取り組みたいと思っていますが、反面取り組むことが秋田県建築士会にとってどのような意味合いがあるのか否かの判断に逡巡することも有ります。何れ役職員とコミュニケーションをとりながらより評価いただける建築士会を目指して活動してまいります。

新年度にはいよいよ全国大会秋田大会のため具体的な準備作業に取り組み始めます。その際重要なこと、それは第一に本事業は秋田県建築士会の会員が結束するための事業であること。第二に地域の活性に寄与し地域貢献したいことと考えています

今年の大会は京都で開催され、次年度以降埼玉・北海道・広島大会と続き平成33年に秋田大会となる予定と聞き及んでおります。全国から集う建築士の仲間は開催地の地域性を感じたいがため集うとも思っております。それ故地元秋田の良さを我々自身が再認識し、そのことを全国の仲間にどのように伝えていくのかに秋田県内の建築士の仲間の英知を集約したいです。

社会変化に対応し、建築関連法規も毎年のように変わっております。それを受けて各種資格制度や研修制度も変化をしており、その窓口として建築士会の果たすべき役割も増大しております。建築のプロ集団としての建築士会が、会員の皆様や地域住民・地域行政より信頼され、会員諸氏が新年もますます飛躍されますことを祈念し新年に当たりましての挨拶と致します。

年頭のごあいさつ

秋田県建設部長　**柴　田　公　博**

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本県建設行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県では、航空機や自動車、新エネルギーなどの成長産業の集積、農林水産物の高付加価値化等の県内産業の基盤強化のほか、交流人口の拡大、移住・定住対策など、地方創生の取組を重点的に進めているところであり、こうした産業基盤の強化や様々な交流を支える道路や港湾等のインフラ整備は不可欠であると考えております。

高速道路については、昨年４月に県内唯一の未着手区間であった山形県境部が「真室川雄勝道路」として新たに事業化され、今年度中には「鷹巣大館道路」が鷹巣ＩＣから大館能代空港まで開通する見込みとなっており、引き続き、着実な整備とともに早期の全線開通に向け取り組んでまいります。

港湾については、昨年、県内のクルーズ船寄港が過去最高の25回を記録したほか、秋田港におけるコンテナ貨物取扱量も高い水準を維持しており、今後も地域活性化や物流・エネルギー拠点として期待されることから、必要な機能強化を図ってまいります。

近年、集中豪雨や台風、地震等の自然災害が頻発しており、県内においても、昨年の７月、８月と一か月余りの間に２度の豪雨に見舞われ、広い範囲で甚大な被害が発生しました。道路や河川等の被災した施設については、今後、本格的な復旧工事に着手し、早期の復旧を目指すとともに、淀川や上溝川などの浸水被害の大きかった河川について、築堤等の緊急的な治水対策を進めてまいります。

さて、昨年４月には本県の人口が100万人の大台を割り込んだところでありますが、全国で最も早く人口減少が進む本県において、地域コミュニティや公共サービスの維持を図るためには、人口減少社会に対応した社会システムの構築や新たなまちづくり・地域づくりの取組が一層重要になってくると考えております。

このため、県としても市町村等と連携して、都市のコンパクト化やＣＣＲＣの導入促進に取り組んでいるところであり、秋田市においては、今年度中に立地適正化計画を策定予定となっており、さらには秋田駅周辺のＪＲを中心とした再開発や駅前ビルのリニューアルなど、民間による中心市街地活性化の動きも活発化しております。引き続き、コンパクトなまちづくりを推進するとともに、まちづくりを担う人材の育成や官民連携による空き家、空き店舗等のリノベーション等にも取り組み、まちの賑わい創出に努めてまいります。

また、本県の建設産業は、地域の守り手として重要な役割を担っておりますが、若年入職者の減少等により深刻な担い手不足となっていることから、県では、昨年９月に全国初の取組となる「秋田県建設産業担い手確保育成センター」を設置し、産学官が一体となって、建設産業の広報やマッチング、女性技術者の活躍推進など、将来を見据えた人材確保・育成に向けた取組を強化していくことにしております。

人口減少を踏まえ、本県が将来にわたり持続的に成長していくためには、経済活動や住民生活の基盤となる社会資本の整備や有効活用が不可欠であり、本年も、道路や港湾等の整備、県民の生命と財産を守るための防災・減災対策、誰もが安心して暮らせる都市基盤や居住環境の整備などに全力で取り組んでまいります。

結びに、秋田県建築士会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新 年 の ご 挨 拶

秋田県建設部建築住宅課長　**高　橋　史　志**

謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に、会員皆様には健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より、本県建築住宅行政、まちづくり行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県では、平成30年度よりスタートする「第３期ふるさと秋田元気創造プラン」の策定を進めております。このプランは県民が豊かさを実感し、生き生きと暮らす事ができる「ふるさと秋田」の新しい時代を創り上げていくことを目指して、平成30年度からの４年間における秋田の方向性を示し、新たな県政運営指針とするものであります。

その概要は「創造する元気と重点戦略」として、元気Ａ「人口減少の抑制と地域を守るシステムの構築」、元気Ｂ「県内産業の『稼ぐ力』の向上と質の高い雇用の創出」、元気Ｃ「交流人口の拡大と交通基盤の充実」、元気Ｄ「健康で安心な生活の実現と未来を支える人づくり」を定め、これら４つの元気創造の実現に向けての「重点戦略」を策定します。また、「基本政策」として、県民の基礎的な生活環境の整備を進めるため、継続的に取り組む施策を定めており、建築住宅課が取り組むものとして「住宅・建築物について大規模地震に備えた耐震化を推進」する施策があります。

建築物の耐震化については、平成25年調査で特定建築物の耐震化率が86.7％と全国85％を上回っておりますが、住宅の耐震化率が69.3％（全国46位）と全国82％と比べて非常に低い水準となっております。

そこで昨年、貴会のご協力のもと、住宅所有者の耐震診断にかかる負担軽減を図る支援手法を構築し、県内９市町において住宅の「耐震診断業務委託」を開始いたしました。昨年の耐震診断を行った住宅の数件が、平成30年度に耐震改修工事を行う予定であり、まだまだ微少ではありますが、事業の成果が出てきているところであります。

昨年９月、県内陸南部を震源とした地震では、大仙市神宮寺で震度５強の揺れを観測しています。幸い建物への被害は少なかったのですが、県内でも大規模地震が起こりうる可能はあります。今後は、震災被害住宅を極力少なくするために「耐震診断委託業務」を行う市町村を拡大し、住宅の耐震化をさらに推進したいと思っておりますので、今後も事業のＰＲや診断業務等、皆様のご協力をお願いいたします。

建築基準法の改正により、新たな用途地域として「田園住居地域」が制定され、４月より施行されます。用途規制としては、準住居地域と近隣商業地域の間に位置し、住宅と農地が混在し、両者が調和して良好な居住環境と営農環境を形成している地域をあるべき市街地像として都市計画に位置付け、開発・建築規制を図るものであります。県内では当分の間、「田園住居地域」を定める都市計画区域はありませんが、今後の動きを注視したいと思います。

また、宅地建物取引業法の改正により、既存建物の取引の際に義務付けられる「既存住宅建物状況調査（インスペクション）」が、今年４月に施行されます。この制度は、既存住宅の取引時に宅地建物取引業者が住宅の設計・施工に詳しい専門家である建築士に、住宅の劣化状況、欠陥の有無などの診断を依頼し、その状況を宅地建物取引士が説明する事により、消費者が既存住宅の質を把握し安心して取引を行えるようにすることを目的にしたものです。

これは、全国的な人口減少と少子高齢化により、2019年以降は住宅戸数に大きな影響を与える世帯数が減少局面を迎えるとされており、さらなる空き家の増加が見込まれる事によるものです。

今後は、法律の趣旨・目的が県民の皆様に理解され、適切に運用されるよう貴会および会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様のご健勝、ご活躍と秋田県建築士会の益々のご発展をご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

第 42 回 一般社団法人 秋田県建築士会大会 大館・北秋田大会
歴史とまちづくり
～ 持続可能な地方都市の可能性を探る ～

◇と　き：平成 29 年 11 月 11 日（土）
◇ところ：ホテルクラウンパレス秋北
主催　一般社団法人 秋田県建築士会
共催　一般社団法人 秋田県建築士会青年委員会
主管　大館・北秋田建築士会

大会スケジュール

13:00 ～ 13:20	**式　典**		司会／松橋 雅子
	1．開会の言葉	大館・北秋田建築士会 副会長	小笠原　寿
	2．会長挨拶	（一社）秋田県建築士会 会長	淡路　孝次
	3．歓迎の挨拶	大館・北秋田建築士会 会長	石川　　成
	4．青年委員長挨拶	（一社）秋田県建築士会 青年委員長	工藤　博臣
	5．来賓紹介		
	6．来賓挨拶	大館市長代理副市長	名村　伸一　様
		秋田県議会議員	北林　丈正　様
	7．閉会の言葉	大館・北秋田建築士会 副会長	小笠原　寿
13:20 ～ 14:30	**フォーラム（取り組み紹介）**		司会／安達 真由美
	秋田産業サポータークラブの活動について		
		秋田産業サポータークラブ　会長	藤盛　紀明　様
	増田の「蔵の再生基金」創設及び「秋田県登録文化財所有者の会」設立の取組みについて		
		秋田産業サポータークラブ副会長	新谷 和弘 氏監修
	大館市の「歴史まちづくり」の取り組みについて		
		大館市建設部まちづくり課課長	斎藤　和彦　様
	桜櫓館の保存取り組みについて		
		国登録有形文化財　桜櫓館館長	成田　欽治　様
14:30 ～ 17:45	**まち歩き及び発表**　寺町～幸町		
	発表者：各班及び秋田産業サポータークラブ代表者様		
	講　評：秋田職業能力開発短期大学校教授		小笠原　吉張　様
18:15 ～	**懇親会**		司会／北村 公晴
	1．開会の言葉	大館・北秋田建築士会 副会長	畠山富美男
	2．挨拶	大館・北秋田建築士会青年部長	熊谷　昌剛
	3．来賓紹介		
	4．来賓挨拶	北秋田地域振興局長	高橋　靖弘　様
	5．乾杯	東北ブロック会青年建築士連絡協議会 会長	五十嵐直哉　様
	6．アトラクション		
	7．大会旗伝達	大館・北秋田建築士会 ⇒ 横手建築士会	
	8．決意表明	横手建築士会	
	9．中締め	大館・北秋田建築士会 監事	赤平　一雄
	10．閉会	大館・北秋田建築士会 副会長	三浦　英人

主催者あいさつ

一般社団法人 秋田県建築士会　会長 **淡　路　孝　次**

第 42 回 一般社団法人 秋田県建築士会 全県大会　大館・北秋田大会が、「歴史とまちづくり～持続可能な地方都市の可能性を探る～」をテーマに多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り開催できますことは、地域と共生を図り地域貢献を目標の一つに掲げている本会に取りまして真に光栄であります。開催に当たりまして一言ご挨拶申し上げます。

本大会は、長年開催されてきました青年大会の長所を活かし、県内の建築士会会員が集う全県大会に発展させ開催されるようになり３回目になっております。昨今のグローバルな社会環境や少子高齢化が地域の有り様に大きな影響を与えていることから、自然状況や社会環境の似かよった東北近県の建築士の皆様、特に次の次代を担う青年の皆様との交流は大変大切なものと認識いたしております。そのような由来より、東北各地域の青年委員長様のご臨席を戴いておりますことは真に嬉しい限りであります。紙面ではありますが御礼申しあげます。

ところで、今回の開催地大館市は本年３月通称「歴史まちづくり法」で「大館市歴史的風致維持向上計画」が文科省・農水省・国交省３大臣連名にて認定戴き、新聞や TV などのマスメディアにて秋田県初の認定として大きく報道され、私もその報道に大きく感動しまた期待もした一人であります。この認定を得て地域の歴史を大切に地域に根ざしたまちづくりが一層進むものと期待しておりますし、わが秋田県建築士会特に地元大館･北秋田建築士会の仲間はその一助になりえるものと自負いたしております。

昨今の情報化の流れでともすれば、各地域のまちづくりが金太郎飴と同じようなものになりがちであります。その結果大きな町に訪れるとどこにでもあるような看板や店舗が立ち並ぶ町並みとなり、来街者から感動の声が聞かれなくなってきたように感じております。来街者が期待するもの、特に観光客の期待するものは地域特有の風土・歴史・文化に接することではないでしょうか。そのように考えますと今回の大館大会のテーマは正に時節に合ったテーマであり、また開催地に合ったテーマと思っております。地方都市が持続可能である可能性は温故知新、地域の気候風土に育まれた歴史と文化を大切に時代に合わせて発展させることから生まれてくるように思われます。

今回の大館大会では皆様との交流の中から是非新しい何かを掴んで発展させてみたいと思いますし、又掴んでお帰りいただきたいと思います。特に今回ご講演いただきます藤盛様は秋田産業サポータークラブ会長として秋田県全域の事情に精通し、様々な分野で秋田の活性化に多大な貢献をされておられます。そのご提案いただいた内容を形作るのは地元住民の我々でありますが、ご提案内容を実効するには技量・能力が必要であります。今回「大館町歩きの実践」についてご指導いただきます小笠原先生は秋田職業能力開発短期大学住居環境科にて建築計画やまち育てをテーマにご活躍され、若い技術者を育てておられますので、我々建築士の仲間にとって本当に有意義なご指導・ご教示をいただけるものと期待しております。

結びになりますが、本大会の開催に当たり準備を進めていただきました大館・北秋田建築士会、青年委員会の皆様をはじめ、ご支援いただいた方々に御礼を申し上げまして挨拶といたします。

青年委員長あいさつ

一般社団法人 秋田県建築士会　青年委員長　**工　藤　博　臣**

本日は、第 42 回一般社団法人秋田県建築士会大会大館・北秋田大会の開催にあたり、ご臨席賜りましたご来賓の皆様、東北ブロック各県の青年委員長の皆様、ならびに県内各地の建築士の皆様には、ご多用中のところ多数ご参加頂きまして心より御礼申し上げます。

さて本年の大会は「歴史とまちづくり～持続可能な地方都市の可能性を探る～」をテーマに開催いたします。

ここ大館市では、秋田県では初となる、歴史的風致維持向上計画の認定を本年の３月に国から交付されました。通称、歴史まちづくり法は、歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる「歴史的風致」を活かしたまちづくりを支援するため、平成 20 年に施行されております。

昨今歴史的建造物の保護が叫ばれる中、ただ残すのではなく、地域の宝を未来につなぐことが重要であり、脈拍と受け継がれてきた歴史と文化や伝統を再度見つめ直し、新しいまちづくりの土台としていけることと考えます。

歴史まちづくりでの先進の活動を行っている、ここ大館での大会が皆様にとって新たな気づきの機会となること、また一人ひとりの故郷への想いを新たな学びとして持ち帰られることをご祈念申し上げます。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました大館・北秋田建築士会の皆様、ご支援ご協力いただきました関係者の皆様に心より御礼を申し上げまして、大会にあたっての挨拶といたします。

名村大館副市長あいさつ

北林県議あいさつ

歓迎のあいさつ

大館・北秋田建築士会　会長　**石　川　　成**

本日は、普段より大変お世話になっております多くのご来賓の方々を始め協力企業の方々、また東北各地の青年委員長様、そして県内各建築士会の会員の皆様にも多数ご出席頂きまして、心より歓迎申し上げます。

顧みますればちょうど１年前の仙北大会の折、皆さんのお席を回りながら「来年の大館北秋田大会にいらして下さい」と話しましたら、「歴まちはどうなっている？建築士会とのかかわりは？」とか「日景温泉はいつ開業なんだ？」「来年を楽しみにしているよ」などと、大変な期待を寄せられ、ほろ酔い加減も程々に身の引き締まる思いをいたしました。

そのご期待に添うべく、大会テーマを「歴史とまちづくり」といたしました。

歴史を語ることは誰でも出来ますが、その歴史を継続し守り続け、発展させることは並大抵のことでは出来ません。私達建築士はまさにその歴史を目に見える形で残し、造り変え再利用できるようにすることも、大切な仕事の一つなのではないでしょうか。

大館市は度重なる大火によって、旧市内の中心部はほぼ全域が消失しています。歴史的建造物と言っても、周辺地域の方に多くあります。しかしその中でも、数少なくなった古き良き時代の建物を守っていかなくは本当の意味の「歴史的風致維持向上」には繋がらないと思っています。建てられた年代の長さだけではなく、その地域において意味のあった建物を探し出し、単なる保存だけではなく継続的に利用されることが重要だと思います。

今回は、その意味において皆さんにも一緒に考えていただき、また今後の参考にもなればと「まち歩き」も取り入れました。遠いところ御参集戴き、なおかつ１時間半近くもお歩きいただくことになりますが、人数も少ない青年部の皆さんが一生懸命考えた企画です。どうかお付き合い下さって、何かしらを持ち帰っていただければ私達の喜びです。

結びに、本大会の開催に当たり本当に頑張ってくれた青年部の皆さん、また多数の関係各位の方々に厚くお礼申し上げますと共に、ご出席の皆様のご健勝を祈念し歓迎のあいさつと致します。

懇親会会場

高橋 北秋田地域振興局長あいさつ

アトラクション　ＪＡＺＺ演奏

大会旗伝達　大館・北秋田建築士会から横手建築士会へ

◇総評

大館・北秋田建築士会　青年部幹事長　**熊　谷　昌　剛**

紅葉も終わりを迎え始めた11月11日(土)、私の地元である大館市にて「第42回（一社）秋田県建築士会大会大館・北秋田大会」が開催されました。

当大会のテーマは、「歴史とまちづくり～持続可能な地方都市の可能性を探る～」であります。平成29年3月、大館市は国より「歴史的風致維持向上計画」の認定を受けました。秋田県内初の認定ということもあり市内外から注目を集め、当支部でも建築士として協力していきたいと考えこのテーマとしました。この盛り上がりは地方都市の活性化に成りうるものですが、当市は度重なる大火に見舞われたこともあり、歴史的な物語は豊富にあっても歴史的建築物はそう多くありません。また辛うじて残っている建物も点在傾向にあるため街並の形成に至らず、それゆえその価値を認識されにくい状態です。その数少ない建物が周囲から愛され、整備され、風景を形成できるようサポートを行うためには、様々な立場の方の取り組みを学び、そして実際にまちを見て様々な意見を集めることが必要と考え、「フォーラム」と「まち歩き＋発表」を企画しました。

フォーラムの最初は、歴史的建築物の「活性化」に取り組んでこられた「秋田産業サポータークラブ」の藤盛会長をお招きし、会のご説明をしていただいた後に『増田の「蔵の再生基金」創設及び「秋田県登録文化財所有者の会」設立の取り組みについて』と題しご講演いただきました。産業界の目線から増田の「内蔵」のある街並みを発展させていった経緯や歴史的建築物を所有している方々のネットワークを構築していく活動内容は大変参考になりました。それから大館市建設部まちづくり課の斎藤課長より、『大館市の「歴史まちづくり」の取り組みについて』と題して行政の立場から「歴まち」の取り組みを説明していただき、最後には国登録有形文化財である「桜櫓館」の成田館長より、所有者の立場から建物への思いや苦労話をお話ししていただきました。

次なる「まち歩き＋発表」として、我々は古い料亭が残る「幸町【通称：新開地】」と、歴史のあるお寺が連立した「寺町」を選びました。あいにくの悪天候により現地に赴くこと叶わず、資料・写真・ストリートビューを用いた「仮想まち歩き」に急遽変更したため、参加者の皆様にはまとめ作業に難儀をかけてしまいましたが、それでも各支部及びゲストとして秋田産業サポータークラブ会員の佐藤氏(日本大学理工学部海洋建築工学科　建築計画・デザイン研究室専任講師）より、現状の街並みの長所・短所を的確に捉えた様々なアイデアを発表していただきました。これらの内容は支部でまとめ、今後の活動に繋げていきたいと存じます。また、昨年の仙北大会で取り上げた角間川の歴史的建築物に対する取り組みが実りを結んでいることを仙北支部の戸嶋さんから報告していただき、結びには秋田職業能力開発短期大学校の小笠原教授に総評をいただきました。

翌日12日の優良建物見学会では、前日のフォーラムで成田館長からも紹介のあった「桜櫓館」、県指定有形文化財の「鳥潟会館」、そして伊藤豊雄氏の設計した世界最大の木造ドーム「ニプロハチ公ドーム（旧樹海ドーム)」、を訪れました。各建物の年代は新旧様々ですが、どれからもその土地の歴史・風土が伝わり、またこれからも歴史に刻まれる存在を感じさせてくれるものでした。

この大会を企画運営するにあたり、青年幹事長になりたての自分に務まるものかと終始不安でしたが、青年部や女性部そして親会の方々に助けられ励まされながらなんとか全日程を無事終了させることができました。また県青年委員長や本部の事務局、また前年度大会開催の仙北支部の方々からも多大なるご協力とご指導をいただき、皆様には深く感謝申し上げます。また不慣れな進行でご参加いただい方々にはご迷惑をおかけしたことと存じますが、今回の大会を糧として活動を深め、再びこの地においでいただいた際にはより良いまち並みの中でお迎えさせていただければ幸いです。この度は大館・北秋田大会にご参加いただきありがとうございました。

◇フォーラム　― 講演会

講　演１：『増田の「蔵の再生基金」創設及び
「秋田県登録文化財所有者の会」設立の取組みについて』
（故 新谷　和弘　氏 監修）

講　師：藤盛　紀明　氏　　――秋田産業サポータークラブ会長――

講　演２：『大館市の「歴史まちづくり」の取り組みについて』
講　師：斎藤　和彦　氏　　――大館市建設部まちづくり課課長――

講　演３：『「桜櫓館」の保存取り組みについて』
講　師：成田　欽治　氏　　――国登録有形文化財 桜櫓館館長――

◇まち歩き及び発表会

大館市の寺町および新開地付近（右地図）をまち歩きし、建築士としての視点から「よかったところ」「残念なところ」「魅力的なまちになるための提案」を提案する予定でしたが、あいにくの悪天候によりスクリーンにてバーチャルまち歩きとなりました。

各グループで話し合い、それぞれの意見が発表がされました。

新開地と桜並木

大館城時代の馬市（現・馬喰町）の旅籠や盛り場が、博労や山師で賑わうにつれ風紀上好ましくない店が増えた為、明治 32 年に大館尋常中学（現・鳳鳴高校）が開校するにあたり、通学路に有った遊郭をお寺の奥の地域へ移転させ、新富町と名付けた。

当時は黒い大門が立っており、貸座敷（公娼）が６軒、料亭「新富亭」（現･北秋倶楽部）が１軒であったが、大正８年の大火後に町が拡張され新開地ができた。昭和になると、新富町と新開地を結ぶ道路に桜が植えられ、商店街や新規の業者が転入し大いに賑わった。この当時、廓だけで 41 軒あったと言われている。

昭和８年秋田県の廃娼宣言の翌年に、大火で「北秋倶楽部」と数件を残して全焼してしまう。その後再興できたのは「加賀廊」など５軒程度だった。新開地には「浜屋」「弁天庵」「梅月」「能代屋」「若松屋」「多美屋」「山形屋」「岩手屋」「吉野家」「朝鮮亭」「亀屋」「花本」「柴田庵」「迎陽亭」「末広」などが再建された。これらも昭和 33 年の赤線廃止後、経済の縮小も後追いし、現在は料亭が数件残るだけとなっている。

平成に入って、大館駅と東大館駅をつなぐ道路の新設で町が分断される。現在新しい建物になっているのは、この移転工事によるものである。

参考文献「大館市史」

○蓮　荘　寺

所在地：秋田県大館市字大館 138
創　建：江戸初期　元和元年（1615 年）
宗　旨：法華宗
本　山：尼崎本興寺
本　尊：釈迦多宝並座の三宝尊
建築様式：入母屋造り　平入

- 概要 -

寺町通りと呼ばれるお寺が連なる通りに本堂を構えるお寺の一つ、３軒連なっているうちの南側に位置している。

当寺は、もと常陸国（茨城県）水戸太田南沢にあったが、大檀那小場式部大輔義成公（大館初代城代、のち三代城代義房より佐竹の姓を名乗る）の大館遷封により、元和元年（1615 年）に移転、現在地に建立した。

草創の開基は寿林院日峰と称し、京都大本山本能寺十五世日逞上人の弟子である。

本堂に安置する釈迦多宝並座の三宝尊は、佐竹義竹公（大館四代城代）母堂瑞雲院殿の寄進によるも

のである。

明治元年（1868 年）戊辰の兵火で堂宇ことごとく焼失し現在の本堂は、北秋田市綴子宝勝寺の古刹を移したもので、明治 11 年（1878 年）の再建である。

庫裡は、もと横山助成氏の邸宅であったが、大正 15 年（1926 年）に買収し、当寺に移した。

往時は、法華宗八品派と称し、京都本能寺　尼崎本興寺の両大本山の末寺であったが、明治 40 年（1907 年）、本興寺の直末となり、今日に至る。

○浄　應　寺

所在地：秋田県大館市字大館５
創　建：西暦 1483 年（文明 15）［室町時代］
宗　旨：浄土真宗（真宗大谷派）
本　山：東本願寺（京都府京都市）
本　尊：親鸞聖人
建築様式：禅宗様　入母屋造り　平入

- 概要 -

寺町通りと呼ばれるお寺が連なる通りに本堂を構えるお寺の一つ、３軒連なっているうちの中央に位置しているため中の寺とも呼ばれている。

創建当初は現在と違う土地（大館市片山２丁目）に本堂を構えていたが関ヶ原の戦いの後の新領主と元領主の残党との仲裁させた功として現在の寺町に土地が与えられ、現在地へ移転する。

移設当時の建物は戊辰戦争や大館の大火により数回焼失されその度に再建されている。現在の建物は明治 20 年に再建され部分修繕を繰り返し、今年（平成 29 年時点）で再建 130 年となる。現存している部位では大正時代に修繕された土台・基礎が最古のものとなる。仏具においても大火の際に殆ど焼失したが掛け軸においては江戸時代からのものが残っている可能性があるとされる。仏具は 100 年前に完備され現在に至る。

○玉　林　寺

本堂

所在地：秋田県大館市字大館 24
創　建：西暦 1527 年（大永７）［室町時代］
宗　旨：曹洞宗
本　山：吉祥山永平寺（福井県吉田郡永平寺町）
諸獄山總持寺（神奈川県横浜市鶴見区）
本　尊：釈迦牟尼仏
建築様式：禅宗様　平入

重層山門

鐘楼

- 概要 -

玉林寺は、1527 年、浅利則頼が鳳凰山の麓に建立したのが始まりである。その後、玉林寺は浅利氏の本拠地である独鈷へ移されたが、浅利氏の滅亡後、1612 年に現在地の大館市字大館へ移転し

た。

玉林寺は、現在地に移転後度々の大火に遭いながら、再建を果たしてきた。昭和６年に最終形態として本堂が、戦後になってから重層山門、鐘楼が建立された。

◇各グループの話し合いと発表の様子◇

様々な意見や提案がありましたが、「きりたんぽ」「桜」「寺町の古い街並みの保存」が活性するためのキーワードとなっておりました。

平成 29 年度　優良建物見学会

今年度の優良建物見学会は、平成 29 年 11 月 11 日（土）に大館市で開催された秋田県建築士大会大館・北秋田大会に合わせて、翌日の 11 月 12 日（日）に開催されました。見学施設は、大館樹海ドーム（ニプロハチ公ドーム）：1997 年建設、桜櫓館：1933 年建設、鳥潟会館：1761 年建設の新旧三つの建築物で、会員を中心に総勢 33 名の方が参加されました。

あいにくの雨でとても寒い日となりましたが、大館・北秋田建築士会のスタッフの温かいおもてなしにより無事に工程を終えられることができました。改めて御礼申し上げます。以下、その概要を紹介します。

大館樹海ドーム（ニプロハチ公ドーム）

住　　所／秋田県大館市上代野字稲荷台 1-1
電話番号／ 0186-45-2500

施設概要

設　　計：（株）伊東豊雄建築設計事務所　（東京都）
　　（株）竹中工務店
施　　工：（株）竹中工務店
主要用途：スポーツ施設、多目的ホール
建築面積：約 21,911㎡
外形寸法：卵型 178m × 157m（ドーム本体）
高　　さ：52m（有効 46.2m）
建物構造：下部　鉄筋コンクリート
屋根架構：屋根架構　秋田杉大断面集成材アーチ構造
　　（樹齢 60 年以上、直径 20cm 以上の秋田杉を約 25,000 本使用）
　　屋根膜　　四フッ化エチレン樹脂コーティングガラス繊維布（テフロン膜）

説　　明
・1997 年 7 月完成。
・長径 178m で、木造ドームとしては世界最長のスパンである。
・屋根材にはテフロン膜を二重に張り、防露対策を行い、また、二重膜内へ温風を送り屋根の融雪も行える。
・大館の自然に融け合う柔らかで優美な曲線を持つデザインで、美術及び芸術部門の賞を受賞している。
・・2017 年 4 月より命名権契約（3 年間）により「ニプロハチ公ドーム」の名称となる。

桜櫓館（国登録有形文化財）

住　　所／秋田県大館市字中城 13-3
電話番号／ 0186-42-0319

施設概要

設　　計：小野熊蔵、石田常吉
棟　　梁：越後甚吉
主要用途：私邸
延床面積：約 288㎡
構　　造：木造 2 階建（展望台付）

説　　明　棟上げは昭和 8 年 11 月。

桜櫓館は大館市、市制施行前の最後の町長を務めた桜場文蔵氏の私邸でした。

建築の特徴としては、2 階の屋根に突き出るように四方にガラス窓を配した展望台を作った事にあります。

桜場氏が町長選に出馬したときは、まだ工事の最中でした。その後町長に初当選した桜庭氏は「この展望台から一人眼下の町を一望しながら町政に思いを巡らせた」と言われています。

建物は京間（一間 6.3 尺＝約 1,910mm）の造りで、普通の部屋より一回り広く造られています。

この建物の見どころは前述の展望台の他に、ケヤキの大梁と長尺･幅広の床板、秋田杉の長押も、継ぎ足す事なくすべて長尺を使用している点や、各部屋の付書院・部屋の障子や階段の手すりにも繊細で高度な技術が施されている点、武家屋敷に見られる格式の高い「起（むく）り破風」のついた玄関なども一見に値します。

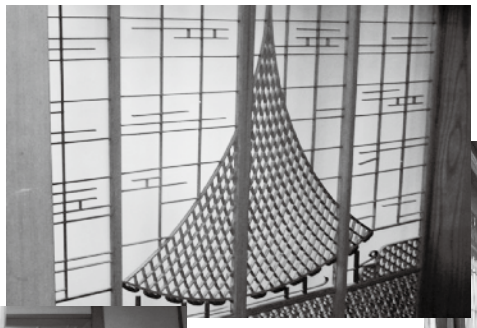
桜櫓館は、大館旧市街地が度重なる大火に見舞われながらも奇跡的に残る、市街地では数少ない昭和初期の本格木造建築として貴重な存在です。

昭和 55 年、大館郵便局の局社新築に際して、建物を曳き屋して現在地を移転しました。

愛称「桜櫓館」について

旧大館城の跡地である桂城公園は桜の名所である事から、また桜場邸から文字をとった「桜」。そして二階の屋根を突き抜けるように設けられた展望台の「櫓」。この二つを組み合わせて命名されました。

また、「館」は大館市の館にも通ずるものがあり、この桜櫓館が大館のシンボルとして末長く市民に愛されるようにとの願いが込められています。



大館市立　鳥潟会館

住　　所／秋田県大館市花岡町字根井下 156 番地
電話番号／ 0186-46-1009

施設概要

建 立 年：1761 年または 1762 年　　増改築 1936 年（昭和 11 年）
建 立 者：鳥潟家
住宅部分：床面積 791㎡、桁行 39.0m、梁間　17.3m
庭園部分：敷地面積 8,191㎡、池面積 377㎡

沿　　革　鳥潟家は慶長年間のころから続く旧家で、花岡村の肝煎を代々務めてきた家柄です。

第 17 代の鳥潟隆三博士は、昭和 11 年（1936）に京風の意匠を取り入れ、邸宅の増改築と庭園の拡張を行いました。約 5 年の歳月を要して延べ 1,000 人を超える京都の大工・左官等の手によって整備されました。庭造りには京都から造園師を招き、庭石に京都の鞍馬石を使うなど、京風の情緒豊かな庭園として、建物と共に東北地方有数の文化遺産といわれています。

昭和 26 年（1951）に当時の花岡町に寄贈され、大館市との合併により市立「鳥潟会館」として一般の利用に開放しています。

平成 23 年（2011）3 月 22 日、建造物が秋田県指定有形文化財に、庭園が秋田県指定名勝（記念物）に指定されました。

旧鳥潟家住宅

旧鳥潟家住宅は、昭和 11 年（1936）年に庭の拡張と邸宅の増築のために、宝暦年間に新築されたとする旧主屋を曳き屋して移動した後、増改築が行われました。

旧家の佇まいを残しつつ、随所に京風に意匠が取り入れられています。2 階には茶室が設けられました。鳥潟家に残る書簡などから、邸宅の整備には京都を中心に活躍した成行兼太郎も棟梁として携わっているとされています。

増築された座敷の天井には屋久杉などの吟味された銘木が使用されています。土間や台所がある西側部分には地下倉庫（25 畳）が備えられ、土間上部にはトラスの小屋組が見られます。

旧鳥潟家住宅庭園

旧鳥潟家住宅庭園は、昭和 11 年（1936）に邸宅の整備とともに拡張・整備されました。池を中心とした地割りがよく計画され、石組などに京都風の手法が見られる県内の代表的な庭園です。

隆三博士の意思により各地から良材が取り寄せられ、とりわけ、主屋東縁には 3m を超える京都の鞍馬石による沓脱石が見られます。

表門、中門のほか、内露地には茅葺きの草庵茶室、茶室待合、四阿（あずまや）、社殿があります。

庭園は四季折々の姿を見せるため、訪問者を飽きさせることはありません。春はツツジの繚乱、夏は力強い蝉しぐれ、秋は燃え盛る紅葉、冬は白銀の世界を見ることができます。

―― 裏表紙に見学の様子を掲載しております。――

親子体験学習「気持ちのいい家つくろう」in 湯沢雄勝

湯沢雄勝建築士会　清水川　道　子

平成 29 年 10 月 14 日（土）湯沢市勤労青少年ホームにて「親子体験学習～気持ちのいい家つくろう in 湯沢雄勝」を開催しました。親子体験学習は、平成 18 年より県南の横手市から始まり、秋田中央、大館北秋田、仙北、鹿角、由利本荘と県内を順番にまわり、今回で 13 回目となります。湯沢雄勝での開催は、平成 22 年に続き今回で２回目の開催となります。

前回の経験から、参加してみたいと思っている子供達や親御さんに、このイベントに来てもらう事を願い、地元 FM 局からの呼びかけやビラを作成。地元メンバー声かけ作戦を主軸に、建築士会の Facebook に載せる等、他支部の女性メンバーにも協力していただきました。

結果、親子で 10 組、うち子供達 19 名、その親御さん 11 名、女性委員会と青年委員会スタッフ合計 18 名、総勢 48 名となり、にぎやかに体験学習を始める事が出来ました。

最初照れながらモジモジしている子供達も、女性メンバーのサポートを受けながら正味２時間。思い思いの家が出来上がり、合計で 14 戸の作品が完成しました。

子供達の計りしれない無邪気な発想をいかに吸い上げてアドバイスするのか、建築士である我々は毎回それが面白くもあります。と、いっても子供達が楽しそうに作業しているのが一番なのですが･･･。作業途中、自分の作品がみんなと違うとうつむく子、お兄ちゃんと文房具の取り合いで泣きだす子、気持ちはさまざまでも悩みながらも少しずつ形が出来上がっていく中で笑顔になって ･･･ いきいきと ･･。ちょっぴり自信に満ちた笑顔は子供ながらたくましくも感じます。

このイベントで青年委員会のメンバーや親会にもサポートをお願いし、建築士として地域に根ざした活動を共有出来た事、とても意義がある事だと思います。我々の活動も少しずつ地域に浸透してきていると感じます。淡路会長も会場に来てくださり講評もいただきました。全員で各グループの感想を聞いて写真撮影後解散となりましたが、全員無事けがもなく終了する事が出来ました。サポートしてくださった他支部の皆さん、ありがとうございました。

次回は秋田中央支部が担当予定です。ぜひご参加ください。

「建築相談会」を実施して

能代山本建築士会　会長　熊　谷　　勝

地域貢献活動としては今まで国登録有形文化財　料亭「金勇」の清掃ボランティアしかなく、なにか他に実施できるものがあればと考えていたところですが、４月の総会においた青年委員会主催で建築相談会を実施してみてはどうかという意見がありました。

住宅相談会とか建築相談会といったたぐいのものでは過去に幾度か実施した経験はありましたけれど、なかなか相談者が集まらず苦戦を強いられたことはありました。

市民に周知の方法さえ徹底すれば何とか人は集まってくれるんではないかと淡い期待を抱きながら、年２回６月 11 日と 10 月１日に実施を決定しました。

何と言っても大事なことは市民への周知の方法です。ポスターは市役所･地域振興局･銀行などに貼ってもらい、地元紙に記事として掲載してもらい、また市役所の広報にも掲載してもらいました。そのほかに会員各社のホームページにも発信できるところにはお願いし、万全を期しました。

第１回目（6 月 11 日）は会場を能代市文化会館会議室で実施いたしました。市中心部にあり、交通の便も大変良いところです。午前 10 時から午後３時までの時間を設定し、青年委員会員を中心に会員５名で待機していましたけど、来たのは地元紙の新聞記者が取材に来ただけでした。残念だけどまた頑張ろうということで第１回は意気消沈して終了しました。

第２回目は１回目の反省点から、会場を能代火力発電所ＰＲ施設エナジアムパークで実施することとなりました。会場は市内からかなり離れていますけど相談者にとっては支障とならないだろうと思いました。

１回目同様に周知の方法はすべて前以上にやりました。２回目も会員５名で対応しました。10 月１日（日）午前 10 時開始と同時に１組の夫婦がおとずれました。１組がきますと大体 30 分から 40 分ぐらい相談しています。午後３時の終了まで５組の相談者が訪れました。２組が同時に相談を受けた時もあり、大変盛況で時間もたちまちすぎたような感じでした。相談内容もまた様々でした。敷地図と平面図を書いてきて検討してほしい。リフォームをしたいけどどのくらいかかるのか。新築・改修工事など見積もりをやる業者を紹介してほしい……。業者を紹介してほしい。とゆう要望が結構あり、われわれは対応に苦慮しました。そのような質問については想定していなくて、原則、業者等の紹介はこの相談会ではできないだろうと考えていました。しかししつこく聞いてくる相談者もおり、個人情報の問題で会員名簿などは渡すことはできませんが、現場の近くにこういう業者がおりますよと教えることくらいはいいのかなと思っております。しかし今後の検討課題であることにはまちがいありません。

また、我々が期待をしていました耐震診断・耐震改修の相談が１件もなく大変残念でした。このへんを来年は重点的に宣伝していこうかなと思っております。

今年の相談会事業まずは成功したと考えております。来年もまた青年委員会を中心に行いたいと思います。

相談員をやるには予習・復習等の学習が必要であり会員個人のスキルアップにも大変重要と考えています。同じ人が何回もやるのではなくできる限り相談員替えていこうと考えています。建築士会の活性化・技術の向上にも必ず役立つものと思います。

第 60 回建築士会全国大会京都大会

（一社）秋田県建築士会　副会長（横手建築士会会長）　照　井　郁　人

12 月 7 日会長共に大会前日から京都入り、伊丹空港よりリムジンバスで京都駅到着。
京都駅八条口に立つと若き日の建築探訪にスイッチが入る、大都市は刺激的で感動的だ , まずは京都駅。

（京都駅中央口）

（コンコースの向こうに大階段）

八条口は南口となるが、正面（北口）に出るのはなかなか見つからない、何とか 2 階部分に南北連絡通路を見つける、東京駅も仙台駅も端にあるので判りにくい、だから通路と呼ぶのだろうか。

やっとの思いで中央口にたどり着いた、コンコースは壮大な吹抜けで、七条側道路から中央改札口を通り一気にホーム出る、0 番ホーム！何と言う響き、ロマンだ。

駅舎は 1997 年にコンペにより完成した、設計は原広司さん、異次元のコンコースの吹抜けの高さ、壁に施されたデザイン、そして感動的な 11 階の屋上まで伸びていくエスカレーター、知らぬ間に屋内から屋外の空に繋がっていく、横には大階段が広がり、大階段は様々な国々の人々の歓喜の声が広がり響く、20 周年を迎えるのに！　これだけで終わらない、それは地上 45 mにある空中径路だ。

ここから京都の景色がバッチリ見え、東の方向の山の中腹を、清水寺、知恩院、南禅寺と北に向かって並んでいる、ちなみに今回の会場は南禅寺の山から西の方角、平安神宮の近く二条の位置にあるが、京都は駅から横方向の通りを七条、五条、四条、三条、二条と北上していく、僕は会場から全部歩いてみたが二条から駅まで 100 分程度で歩ける距離であった。

（知恩院山門）

（東本願寺から京都駅の壁抜け）

話を京都駅に戻す、1000 年の都は、神社仏閣が感動以上に存在する古都！

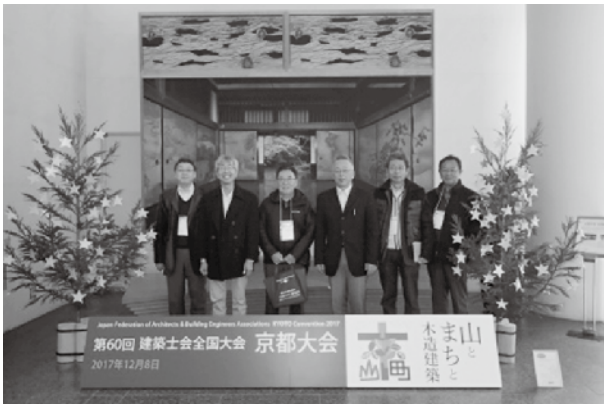
二日間で、東寺、南禅寺、伏見稲荷、知恩院、南禅寺、平安神宮、西、東本願寺と観て廻った、他に金閣寺、銀閣寺、平等院、33 間堂、清水寺などがあるが、実は中学修学旅行で観ているのである。

この古都に釣り合う京都駅、今尚京都駅を批判的する人がいるらしいが、この京都駅こそ歴史を感じる壮大な都市に対して、この圧倒する近代建築で対比する事こそが解決するデザインだったのでは。

だからこそ、20 年の時間を経て今なお、歓喜の声がする空間になっている事がその証拠ではないだろうか。

そろそろ大会報告をしますが、会場に入る前に、凝りもせず、対面している建物に感動してしまった！ ロームシアター京都！　旧京都会館で、前川國男さんが設計した建物で 1960 年に完成してしている、みなさん身近な感じしませんか。

秋田県でも良く見かけた庇ではないでしょうか、前川國男さんにルーツがあったのかも。



（横手参加者）

（ロームシアター京都）

第 60 回京都大会テーマ「山とまちと木造建築」、参加者 3800 名、会場の「みやこめっせ」にてすべてが行われ、大会式典から各セッション、３階の式典会場は 3000 人の席を余裕で配置できる建物でさすが京都であった。

メインテーマは若き頃に憧れた町屋、何度見ても聞いても、憧れの空間で、うっとりと聞いていたが、残念ながら、地域による住空間は異なる。

37 年前に名古屋から横手に移住し時、僕はコートハウスに夢中だった、内に開く家！　しかし、雪を経験して雪国では難しい事を知った、不可能では無いけど、生活が大変だ。

笑い話だが、何度、日本列島が横長だったらと思った事か（笑）

全国大会への参加は良い刺激になり、建築を考える心が蘇る機会になった。そして、もう一つ感じた事があった、話し相手の居ない一人旅は寂しいと言う事。どうも歳を取ったようです（笑）

第 60 回建築士会全国大会京都大会（報告）

（一社）秋田県建築士会副会長（秋田中央建築士会会長）　田　仲　雅　美

60 回を数える節目の建築士会全国大会。例年に比べ１ヶ月半ほど遅い開催日程も、開催地が京都と言うことで早い段階で参加を決めていた。

会誌 2017.　6 月号 june 特集「京都大会」へのいざないで、会場へのアクセスが良くかつ地理的にも解りやすい宿泊先を絞り申し込む。

結果、京都駅から北側に延びる烏丸通り四条にホテルを確保。あとは交通手段。前回の大分別府大会は、４日後に同会場において別会の全国会議があったことから参加を取り止め。前々回の石川金沢大会は気ままにマイカーでの単独行。

さすがに京都は、飛行機か新幹線の択一で迷った末に直近でいつ乗ったのかも忘れた新幹線に決定。京都２泊、東京１泊の旅程で大会前日の 12 月７日 14 時頃、京都駅着。そのままホテル直行でチェックイン。

12 月８日（金）京都市勧業館「みやこめっせ」（平安神宮近く）を会場にいよいよ京都大会が開催される。多くの会員が参加するメーンの大会式典は 15 時からの開会で、それに先駆け 10 時からは青年委員会運営の「地域実践活動の発表会」、街中・歴史・景観まちづくり部会合同運営の「空き家問題と歴史･景観まちづくり」､女性委員会と関連部会合同運営の「コミュニティケア型仮設住宅を考える」ほか、環境部会、情報広報委員会、全国ヘリテージマネージャー協議会がそれぞれ運営したセッションが各会場で行われていた。自身はフリー入場で前段の２セッション会場で４事例の発表を聴講。ブロック代表者等がプロジェクターを併用しながら、持ち時間いっぱいに成果事例発表をしていた。

その中で驚いたのは「空き家･･･」セッションで熊本士会から発表あったプロジェクターの１コマだった。確か熊本地震に関連した復興状況を取り上げたテレビ番組で、かなり以前に空き家改修し営業しているケーキ店主が、改修利用を奨め一肌脱いでくれた建設会社社長の好意に、自身が誓い守り続けている自転車によるケーキ販売、配達。早期復興を願って仕事をし続けている様子を紹介した番組内容と一部重なったことにはビックリでした。（記憶に不安を感じ「熊本地震　テレビ番組　ケーキ屋　自転車」でネット検索。見事ヒット。事例発表で紹介あった建設会社とも一致。）

12 時 30 分からは「山とまちと木造住宅」をテーマに大会記念フォーラムが開会。木材生産者との繋がりと資源確保の取り組みもしている建築士。木の特性を熟知し木造建築を推奨する研究者でもある女性建築士。住まい手として京町家の維持保存に関わる三者がスピーカー兼パネラーとして登壇。また、建築士でもあり木造の伝統工法を引き継ぐ棟梁が、施工者の立場でパネラーとして登壇。京都府士会の副会長をされている大学教授がコーディネータを努め、内容の濃い討論がされたフォーラムだった。因みに、本大会テーマの決定にあたり３年前、士会内部で幾度となく議論し提案採択されたとのこと。

15 時大会式典の開始。前段、平安時代から伝わる安全祈願の儀式で番匠と言われる大工さんによる「ちょうな（金へんにおの）始め」が厳かに執り行われたのち開会宣言。来賓祝辞、会員の諸活動に対する表彰式が挙行され 17 時過ぎに閉会。

そして 18 時からの交流会（記念フォーラム以降、同会場）に参加。立食をイメージしていたがテーブル席で、しかも単位士会ごとに配置されていたのには驚かされた。お陰様でゆっくり自分が所属する秋田中央士会の参加者は勿論、他地域、他士会のメンバーとの交流もでき有意義な時間を過ごすことができました。

大会を主管された京都府建築士会の皆様に大きな拍手と御慰労を申し上げる。

準備期間３年。今大会参加者 3,800 名。さすが大都市京都。会場となった「みやこめっせ」のメーンフロアの広さには恐れ入った。用意されたパイプ椅子 3,000 席。(100 列 30 段)ついつい数えてしまった。

来賓出席されてた真鍋純建設官房審議官（平成８年６月末まで３年ほど秋田市に出向）がわざわざ中央士会のテーブルまで挨拶に来てくれたことを併せて報告します。また、個人的には大会で 26、7 年前に連合会で知り合い、現在、単位士会長として活躍されている５人と再会できたことが嬉しかった。

最後になりますが、2021 年の秋田大会開催に向け淡路会長のもと一致団結しよう。そして本年も会員の皆様により良い年になることを祈念します。

以上

式典の様子

次年度開催の埼玉県建築士会の皆様

大交流会にて

当県の参加者

忘れてませんか！
建築士定期講習のお知らせ

平成20年11月28日施行の改正建築士法により、建築士事務所に所属するすべての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を３年以内ごとに受講しなければなりません。

建築士事務所に所属する方で、平成26年度に建築士定期講習を修了した方及び平成26年度以前に建築士試験に合格し建築士として登録した方でまだ受講していない方は、平成29年度中に当該建築士定期講習を受講しなければなりません。

今回は平成29年度の最後の講習になりますので是非受講をお勧めします。

第４回定期講習（１Ｅ－04）

と　き：平成30年３月１日㈭

ところ：秋田市文化会館　５階大会議室

募集期間：平成29年11月14日から平成30年２月16日
登録講習機関　公益財団法人　建築技術教育普及センター
受付機関　（一社）秋田県建築士会　事務局
受講申込書を希望する方は、事務局までお問い合わせ下さい。

電話 018−827−3718　FAX 018−827−3873

会　務　報　告

（平成 29 年 8 月～平成 29 年 12 月）

8月1日㈫　平成29年度地域会会長会議開催
於：秋田市センタース
出席者　会長　淡路孝次　外

6日㈰　ストップ·ザ·温暖化あきたキックオフイベントへ、淡路会長出席
於：イオンモール秋田

22日㈫　平成29年二級建築士学科試験合格発表。合格者42名

29日㈫　平成29年度事務局職員研修会開催
於：にぎわい交流館ＡＵ
出席者　会長　淡路孝次　外

30日㈬　平成29年度被災建築物応急危険度判定·連絡訓練へ、植田事務局長参加
於：秋田県建築士会　事務局
出席者　事務局長　植田一　外８名

9月2日㈯　女性委員会東北ブロック会視察·見学会へ、松橋女性委員長、伊藤女性副委員長出席
於：福島県

5日㈫　平成29年一級建築士学科試験合格発表。合格者９名

10日㈰　平成29年二級建築士製図試験実施　受験者78名
於：秋田市生涯学習センター

21日㈭　第２回既存住宅状況調査技術者講習「移行講習」開催　受講者６名
於：秋田市文化会館

22日㈮　平成29年度第３回理事会開催
於：ルポールみずほ
出席者　会長　淡路孝次　外

27日㈬　第２回既存住宅状況調査技術者講習「新規講習」開催　受講者35名
於：秋田市文化会館

29日㈮　平吹和之氏旭日小綬章受章を祝う会へ、淡路会長出席
於：山形県　パレスグランデール

9月30日㈯　第42回（一社）北海道建築士会全道大会（後志大会）へ、淡路会長出席
於：北海道　倶知安町文化福祉センター大ホール

10月4日㈬　一級·二級·木造建築士定期講習開催
受講者49名
於：北秋田市交流センター

8日㈰　平成29年一級建築士製図試験実施　受験者20名
於：秋田県ＪＡビル

11日㈬　秋田県木材利用促進委員会へ、淡路会長出席
於：秋田地方総合庁舎

13日㈮　平成29年度東北ブロック「まちづくり委員会」へ、鳥潟まちづくり委員長、鈴石まちづくり活動部会：景観まちづくり（東北Ｂリーダー）出席
於：岩手県　いわて県民情報交流センター（アイーナ）

28日㈯　平成29年度岩手県建築士会青年大会へ、工藤青年委員長出席
於：二戸パークホテル

11月9日㈭　一級·二級·木造建築士定期講習開催
受講者71名
於：大仙市大曲交流センター

10日㈮　第31回秋田の住宅コンクール審査会へ、松橋女性委員長出席
於：秋田ビューホテル

11日㈯　秋田県建築士会大会大館北秋田大会開催

12日㈰　現場見学会開催
於：大館市

16日㈭　平成29年度中間会計監査開催
於：アキタパークホテル
出席者　会長　淡路孝次　外５名

11月18日㈯　第30回（一社）山形県建築士会青年大会へ、樋渡青年委員出席
於：山形県　村山市民体育館

25日㈯　第31回秋田の住宅コンクール表彰式へ、淡路会長出席
於：秋田市にぎわい交流館

28日㈫　【公益･一般法人】法人運営セミナーへ、植田事務局長参加
於：秋田県第２庁舎８階大会議室

12月５日㈫　平成29年度第２回三役会議開催
於：秋田市センタース
出席者　会長　淡路孝次　外

７日㈭　連合会第27回定例理事会へ､湯沢顧問、淡路会長出席
於：京都市勧業館「みやこめっせ」
平成29年二級建築士及び木造建築士製図試験合格発表。二級合格者43名

８日㈮　連合会「第60回建築士会全国大会（京都大会）」開催
於：京都市勧業館「みやこめっせ」
出席者　会長　淡路孝次　外

15日㈮　平成29年度第４回理事会開催
於：秋田アトリオンビル
出席者　会長　淡路孝次　外

21日㈭　平成29年一級建築士製図試験合格発表。合格者１名

地域会だより

平成 29 年8月～平成 29 年 12 月

○鹿角建築士会

平成29年

8月11日　青年委員会学習会（参加者８名）

9月２日　県補助事業　ストーンサークル周辺下刈り作業（参加者６名）
（鹿角建設技能組合青年部　鹿角十和田建設技能組合青年部合同）

9月８日　かづの元気フェスタ実行委員会に参加（参加者６名）

9月16日　かづの元気フェスタ準備(参加者９名)

17日　かづの元気フェスタ
（於：鹿角スポーツセンター）
・模擬上棟式　木組作業の後、子供参加の上棟式を開催。来場者へ餅まきを行う。
・木工教室　　親子参加で本棚、ゴミ箱、小物入れ、ペン立て、コースターの製作
・木とのふれあい体験　釘早打ち競争、積み木高さ競争、木材早切り競争を行う。
（鹿角建設技能組合青年部鹿角十和田建設技能組合青年部合同）（参加者９名）

10月20日　行財政改革大綱の策定に係る県民との意見交換会（第２回）に参加（参加者１名）

11月11日　第42回秋田県建築士会大館・北秋田大会に参加（於：ホテルクラウンパレス秋北）
講演会
講師　秋田産業サポータークラブ会長
藤盛　紀明　氏
「歴史的な建築・街並の保存取り組み事例紹介」
（参加者５名）

11月12日　優良建物見学会　鳥潟会館、ニプロハチ公ドーム、桜櫓館（参加者３名）

12月７日　全国大会(京都大会)全国建築士フォーラムに参加（みやこめっせ　展示場）（参加者１名）

８日　全国大会（京都大会）に参加大会式典（参加者６名）

９日　渡月橋、天竜寺、嵯峨野竹林散策、仁和寺、竜安寺、金閣寺、今宮神社見学（参加者６名）

10日　京都駅見学（設計者：原広司）（参加者６名）

12月15日　鹿角市空き家対策会議出席（参加者１名）

○大館北秋田建築士会

平成29年

８月18日　事務所協会合同商品説明会、ビール会
於：プラザ杉の子
参加６人

10月５日　三役委員会　於：事務局
参加６人

10月26日　平成29年度第２回理事会
於：北部コミュニティセンター
・秋田県建築士会大会大館・北秋田大会について
出席15人

11月11日　第42回（一社）秋田県建築士会大会
於：ホテルクラウンパレス秋北

12日　「大館・北秋田大会」　出席93人

12月８日～10日　第60回建築士会全国大会「京都大会」参加
於：京都市勧業館・みやこめっせ
参加９人

○能代山本建築士会

平成29年

９月19日　平成29年度第３回理事会
魚松　　９名参加

９月22日　（一社）秋田県建築士会第３回理事会

会長.大高理事参加

10月１日　平成29年度第２回建築相談会
エナジアムパーク　会員５名参加

10月25日　金勇清掃ボランテイア
金勇　７名参加

11月11日　平成29年度秋田県建築士会大館.北秋大会　７名参加

11月12日　平成29年度秋田県建築士会優良建物見学会　３名参加

11月24日　平成29年度研修委員会　西方設計モデルハウス　13名参加
演題｛ReaIZEH･Q １住宅能代のテーマ｝

○秋田中央建築士会

平成29年

８月　９日　青年部会
東北ブロック青年大会に向けた
秋田県建築士会青年委員会・秋田中央建築士会青年部会役員幹事
合同打合せ及び決起会（於：秋田駅トピコ　３Ｆ　欣秋）

９月　２日　女性部会
東北ブロック会視察・見学会in福島
（福島県避難解除地域の視察　飯舘村～浪江町～富岡町）

９月26日　ひびき編集委員会　第１回委員会（於やまがた庵）
１．ひびき39号の編集方針について
２．予算について
３．役割分担について
４．各部会の対応について
５．今後のスケジュールについて
６．その他

10月14日　女性部会
第２回学習会
（県）親子体験学習「気持ちのいい家をつくろう」in湯沢雄勝

10月15日　女性部会
（県）小安から旧湯沢市内　建物見学会

10月24日　事業委員会
平成29年度　優良建物見学会
１．旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園
２．土崎みなと歴史伝承館
３．秋田市新屋ガラス工房・渡邉幸四郎邸
４．懇親会（あっぱれ寿司）

11月11日　第42回（一社）秋田県建築士会大会
大館・北秋田大会
（於：ホテルクラウンパレス秋北）

11月12日　平成29年度　（一社）秋田県建築士会
優良建物見学会

12月　３日　女性部会
第３回学習会

・吹きガラス制作（秋田市新屋ガラス工房）
・アート鑑賞（秋田県立美術館）
・意見交換会（御厨　光琳）

12月　7日　第８回全国建築士フォーラムin京都
（於　京都市勧業館　みやこめっせ）

12月　8日　第60回建築士会全国大会　京都大会
（於　京都市勧業館　みやこめっせ）

○由利建築士会

平成29年

9月7日　第１回理事会
於　本荘由利地域職業訓練センター
・今後の建築技術研修
・市民祭り担当及び詳細について
・全国大会（京都大会）について
13名出席

10月７日　建築相談会、木工教室
於　伊藤建具製作所
・市民祭りでの木工教室の木材加工
7名参加

10月13日　第１回青年委員会
於　事務局
・青年委員会事業計画
・市民祭り詳細決定について
・大館北秋田大会、東北ブロック大会について
４名出席

10月21日　建築相談会、木工教室
於　カダーレ
・市民祭りでの建築相談会、木工教室
４時間で50脚の椅子を作成・販売
（１脚当り300円）
６名参加

11月４日　第１回女性委員会
於　ボートプラザアクアパル
・学習会木育キャラバンin由利本荘市視察
・県女性委員会の活動について
・その他意見交換
2名参加

12月８日~10日
全国大会（京都大会）及び研修旅行
於　京都市「みやこめっせ」

・全国大会式典参加
・京都市内研修　三十三間堂、高台寺等
12名参加

○仙北建築士会

平成29年

10月21日～22日　平成29年度　大仙市秋の稔りフェアに参加
青年委員会が協力し行う
「100円shop品と廃材で作る！！木製ラック☆彡」製作体験！！
と「組子コースター」の製作体験、「青森ヒバ匂い袋」配布

11月９日　建築士定期講習会　県南地区開催手伝い
湊専務理事

11月11日～12日　第42回（一社）秋田県建築士会大会大館北秋田大会
７名参加
見学会　４名参加

12月７日～10日　平成29年度建築士会全国大会
京都大会
仙北建築士会より15名参加

○横手建築士会

平成29年

８月25日㈮　研修会＋生ビール大会
研修会（建築材料各種工法）
15：00～17：00　ゆうゆうプラザ
①リフォームやバリアフリー等の建材について
②省エネと断熱・リフォーム用サッシについて
生ビール大会
18：00～　ゆうゆうプラザ

11月11日㈯　第42回（一社）秋田県建築士会大会
大館・北秋田大会に参加
大会テーマ「歴史とまりづくり～持続可能な地方都市の可能性を探る～」
13：00～17：45
ホテルクラウンパレス秋北
参加人数10名

12月８日㈮　第60回建築士会全国大会　京都大会に参加
「山とまちと木造建築」
会場　京都市勧業館「みやこめっせ」
参加人数６名

○湯沢雄勝建築士会

平成29年

11月11日㈯　第42回（一社）秋田県建築士会大会
大館・北秋田大会に参加
大会テーマ「歴史とまりづくり～持続可能な地方都市の可能性を探る～」
会場　ホテルクラウンパレス秋北
参加人数６名

12月８日㈮　第60回建築士会全国大会　京都大会に参加
「山とまちと木造建築」
会場　京都市勧業館「みやこめっせ」
参加人数３名

平成30年 誌上年賀

迎春

2018

一般社団法人 秋田県建築士会

〒010－0001
秋田市中通２－３－８アトリオン５階
（一財）秋田県建築住宅センター内
ＴＥＬ 018－827－3718
ＦＡＸ 018－827－3873

新春を迎え平素のご厚情を深謝し、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

会長	淡路孝次	理事	小原正明
副会長	熊谷勝		櫻庭星治
	田仲雅美		正木和美
	照井郁人		湊泰正
専務理事	小田島誠		菊池泰美
常務理事	柳沢富美男		山脇一樹
	高橋幸治	青年委員長	工藤博臣
	佐藤隆志	同副委員長	亀井沢洋平
理事	児玉安広	女性委員長	松橋雅子
	石川成	同副委員長	伊藤加久子
	鳥潟宏一	監事	中西純悦
	大高勇		泉谷昭一
	赤川孝則		根知宏

謹賀新年

平成30年元旦

鹿角建築士会

住　所　〒018－5334　鹿角市十和田毛馬内字森崎17－1　十和田建築設計事務所内
ＴＥＬ　0186－30－3500　　ＦＡＸ　0186－30－3600

顧問	阿部秀一	和田寛		
相談役	阿部正一	大森昇治	石川典男	金澤一美
会長	柳沢富美男			
副会長	神田幸憲	中西純悦		
総務理事	戸舘康博			
会計理事	高屋廣美			
理事	安保尊	小舘正光	湯瀬芳夫	佐藤重則
	戸舘康博	金澤拓	金澤宏樹	児玉安宏
	阿部悦志郎	黒沢賢		
監事	田中教雄	岩根務		

謹賀新年

平成30年元旦

人が集う快適空間づくり

屋根・壁・錺り工事
スノーガードK（流体振動板式雪庇切）
製造・責任施工

株式会社キムラ鋼板

本社／鹿角市花輪字柳田20-1/·fax/0186-23-2693

☎0186−22−1213

謹賀新年

平成30年元旦

設計・監理

中西建築設計事務所

主宰　中西純悦

秋田県鹿角市花輪字柴切田15－3
PHONE 0186－22－1400
F A X 0186－22－4025

謹賀新年

平成30年元旦

〒018－5334　秋田県鹿角市十和田毛馬内字森崎17－1

TOWADA

有限会社
十和田板金工業所
十和田建築設計事務所

代表取締役　柳沢友三
一級建築士　柳沢富美男

TEL（0186）30−3500　　FAX（0186）30−3600

謹賀新年

平成30年元旦

建築・設計・施工
リフォーム・コンサル業務

株式会社創企画

〒018－5334
秋田県鹿角市十和田毛馬内字押出35－3
TEL. 0186－35－2470
FAX. 0186－35－2733
E-mail:som99cs9@ivy.con.ne.jp

謹賀新年

平成30年元旦

理想の住まいづくり私たちがお手伝いします！

DAISIN

有限会社 大晋建設

注文住宅・リフォームお任せください

JOY'KOS　SW スーパーウォール工法

〒018−5336　秋田県鹿角市十和田錦木字下田面29−1
TEL0186−35−3060　FAX0186−35−4738
http://www.ii-ie.net/daishin

謹賀新年

平成30年元旦

設計監理

有限会社 阿部設計

代表取締役　阿部秀一
管理建築士　児玉安広

事務所／〒018−5201
秋田県鹿角市花輪字下夕町212−12
TEL 0186−23−7211　FAX 0186−23−7212

謹賀新年

平成30年元旦

鋼材，鉄鋼二次製品，新建材，セメント，生コン
石油製品，農業資材，食料品，米穀集荷販売

株式会社 大里恒三商店（ダイ　ツネ）

秋田県鹿角市花輪字下花輪82
電話〔0186〕　本店 ㈹㉒1228　FAX㉒1224
石油部本店　高井田給油所㈹㉓2651　FAX㉒2738
一中前給油所　㉓2987
市役所前給油所㉓5611
十和田給油所　㉟2638

謹賀新年

平成30年元旦

Original Frame & Urethan Panel
F & P FPの家
ウレタン断熱のパイオニア

人と地球にやさしい家

総合建設業
株式会社 田中建設

代表取締役　田中教雄

秋田県鹿角市花輪字大川添26番地
TEL(0186)22−0774㈹
URL:http:www.fp-group.gr.jp/tanaka-kensetsu
E-mail:tanaken@ink.or.jp

謹賀新年

平成30年元旦

大館・北秋田建築士会

住　所　〒017−0046　大館市清水一丁目5−4　㈲石川建築内
ＴＥＬ　0186−42−2065　　ＦＡＸ　0186−42−1943

顧問	福原淳嗣	津谷永光	伊藤和博	畠山光由
相談役	松岡裕	田中寿一	石田起徳	石山清武　高清水敞
会長	石川成			
副会長	畠山富美男	小笠原寿	三浦英人	
専務理事	鳥潟宏一			
常務理事	小林一男	斉藤留美子	松橋雅子	
理事	加賀谷時代	奈良田勝正	幸坂金光	長谷部徹　高田敏雄
	小林勝雄	佐藤雄幸	三浦司	武石大智　熊谷昌剛
	安達真由美			
監事	信濃屋豊久	赤平一雄		

謹賀新年

平成30年元旦

いつもそばに 地域と共に ･･･ 未来へ

株式会社吉田産業　取締役支店長 松澤清美

■大館支店　〒017−0878　大館市川口字上野85−1
TEL 0186−43−2233　FAX 0186−43−2232
■能代営業所　〒016−0884　能代市卸町２−７
TEL 0185−54−2602　FAX 0185−54−8458
URL:http://www.yoshidasangyo.co.jp/

謹賀新年

平成30年元旦

電気設備･通信･消防施設･計装･空調･送電工事の設計施工

奥羽電気設備株式会社

代表取締役　川井隆治

REGISTERED ORIGANIZATION
№1588−ISO9001

本　　社／秋田県大館市泉町６番22号
TEL0186(42)1870 ・ FAX0186(43)0024
秋田営業所／秋田県秋田市飯島字砂田26の9
TEL018(845)9735 ・ FAX018(846)8255
青森営業所／青森県青森市卸町22番10
TEL017(738)6793 ・ FAX017(738)6523
ＵＲＬ　http://ohwu-denki.co.jp

謹賀新年

平成30年元旦

建設から暮らしまで

── 人にやさしく 暮らしに 深く ──

カクヒロ

〒017−0044　大館市御成町一丁目16番10号
支店長　柴田　望
TEL0186−42−3041　FAX0186−49−0985
URL http://www.kakuhiro.co.jp/

謹賀新年

平成30年元旦

床材の決定版
環境にやさしい天然素材

床材･壁材･階段材･カウンター（JAS認定工場）

藤島木材工業株式会社
藤島林産株式会社

〒018−3301　北秋田市綴子字田中下モ31
ＴＥＬ0186(62)0390～1
ＦＡＸ0186(62)0392

謹賀新年

平成30年元旦

人のそばに、夢のそばに。

山二建設資材株式会社
大館営業所

〒017−0838
秋田県大館市山館字八幡下150
TEL 0186(42)7521
FAX 0186(42)7520
URL http://www.yamani-ks.co.jp/

謹賀新年

平成30年元旦

屋根・壁・太陽光発電…創エネで未来をリード

SEKINO 株式会社セキノ興産
大館店

〒017－0836
秋田県大館市池内字中台300
ＴＥＬ（0186）42－7611
ＦＡＸ（0186）42－7613

謹賀新年

平成30年元旦

工事は地元の信頼できる
工務店にお任せ

〈住まいづくりに奉仕する〉

三浦木材株式会社

代表取締役　三浦功達

〒017－0031　大館市上代野字上代野５－１
ＴＥＬ 0186－48－5811
ＦＡＸ 0186－48－5814

謹賀新年

平成30年元旦

能代山本建築士会

住　所　〒016－0845　能代市通町１－16　サクラバ設計内
ＴＥＬ　0185－53－5667　　ＦＡＸ　0185－74－6020

顧問　田中　潤
相談役　福谷　三
会長　熊谷　勝
副会長　大高　勇　櫻庭　徹
理事　西方　里見　長門　雅哉　佐々木　政幸　永井　儀博
幸坂　誠　佐藤　友一　田村　喜代宣　今井　浩一
池田　佐保
監事　相原　勇次郎　加藤　一喜

謹賀新年

平成30年元旦

KAN ARCHITECTS & ENGINEERES

設計集団 環 協同組合

代表理事　佐　藤　友　一

〒016－0811　秋田県能代市日吉町20－25
TEL0185－55－0022・FAX0185－55－0023

謹賀新年

平成30年元旦

ISO9001認証取得

中田建設株式会社
NAKATA

代表取締役社長　見　上　重　新

本　社　〒010-0951 秋田市山王五丁目9番2号
TEL018(864)3211㈹　FAX018(864)3216
能代本店　〒016-0804 能代市万町4番29号
TEL0185(54)3911㈹　FAX0185(55)0226

謹賀新年

平成30年元旦

総合建設業

株式会社
サンワ興建
SANWA

代表取締役　佐　藤　　麿

本　社／秋田県能代市字高塙65番地
TEL0185-55-3110 FAX0185-54-4713
秋田店／秋田市泉馬場６－10
TEL018-869-7330
http://www.sannwa.co.jp

謹賀新年

平成30年元旦

建築工事・不動産

熊谷建設㈱

〒016－0015
秋田県能代市須田字屋布添76番地
ＴＥＬ0185－54－4600
ＦＡＸ0185－54－4107

謹　賀　新　年

平成30年元旦

秋田中央建築士会

住　所　〒010－0001　秋田市中通２－38　秋田アトリオンビル５Ｆ
ＴＥＬ　018－836－7850　　ＦＡＸ　018－836－7852

顧問	伊藤弥一郎				
相談役	淡路孝次	工藤晴治	小竹哲夫	鈴木玲子	高橋智徳
	土田久美子	湯沢隆市	渡辺佐文		
会長	田仲雅美				
副会長	加藤一成	櫻庭星治			
会計理事	伊藤加久子				
理事	赤川孝則	伊藤敦朗	植田一	小原正明	北嶋一美
	小玉充郎	小林晴樹	佐々木展	佐藤紘一	鈴木浩樹
	竹田青子	舘岡司	舘岡恒人	谷口満州美	畑山広英
	花田順	原田裕	樋渡裕輔	若松康博	
監事	伊藤師	佐藤重明			

謹　賀　新　年

平成30年元旦

ADC
AKITA ARCHITECTURE DESIGN COLLEGE

学校法人 峰本学園
秋田建築デザイン専門学校
〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-71
TEL. 018-824-0515 FAX. 018-866-7028
URL http://www.aac.ac.jp/
E-mail kensen@sirius.ocn.ne.jp

詳しくは本校のホームページをご覧ください。

秋田建築デザイン専門学校　検索

謹　賀　新　年

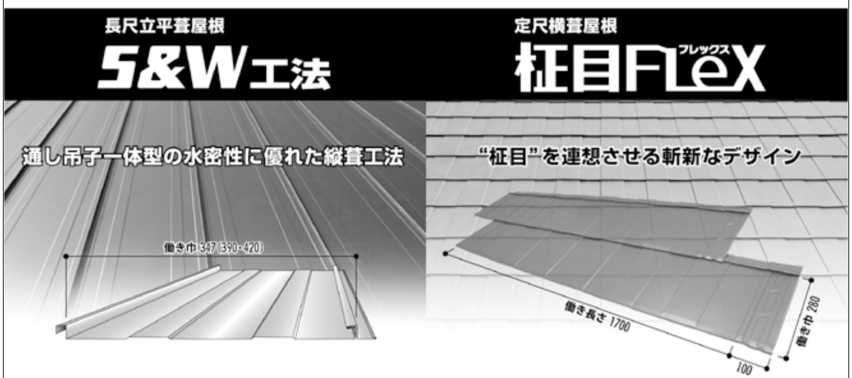
平成30年元旦

株式会社
渡辺佐文建築設計事務所
〒010-0954 秋田県秋田市山王沼田町6-8
TEL. 018－863－8431 FAX.018－863－8432

謹　賀　新　年

平成30年元旦

ホームページ



SEKINO セキノ興産
屋根・壁・太陽光発電・・・創エネで未来をリード!

株式会社 セキノ興産 秋田店
☎ 018-880-2323 FAX 018-880-2221
〒011-0916 秋田市飯島字穀丁大谷地 1-7

謹賀新年

平成30年元旦

金子サッシ

株式会社　KANEKO

代表取締役　田　村　伸　一

〒010－1617
秋田市新屋松美ガ丘東町２番15号
TEL(018)863－1717 FAX(018)863－9234

謹賀新年

平成30年元旦

株式会社 林工務店

代表取締役　林　　明　夫
専務取締役　林　　徳　彦
常務取締役　林　　康　夫

〒011－0943　秋田市土崎港南1丁目14－37
TEL 018－845－1863　FAX018－845－6930

謹賀新年

平成30年元旦

代表取締役　足　利　　健

総合建設業
株式会社足利工務店

〒019－2601
秋田市河辺和田字岡村239
電話／018－882－2059・ファックス／882－2153
仙台営業所
仙台市宮城野区鶴巻２丁目３－43
TEL. 022－781－6301　FAX.022－781－6302

謹賀新年

平成30年元旦

設計･監理　一級建築士事務所
株式会社 クリエイテブライフ

CreativeLife

代表取締役　淡路 孝次

〒010−0802 秋田市外旭川字三後田266−2
TEL 018−868−5352　FAX 018−868−5348
E-mail creativelife@iaa.itkeeper.ne.jp

謹賀新年

平成30年元旦

株式会社北日本建築検査機構

代表取締役社長　國　安　恵　子

〒010－0029
秋田県秋田市楢山川口境13－７
ＴＥＬ018－884－0071
ＦＡＸ018－884－0072
E-mail info@kbo.co.jp

謹賀新年

平成30年元旦

STATIONERY & PAPER
TOMIYA

株式会社 とみや

〒010-0951　秋田市山王3-8-34（山王ツインビル）
TEL 018-862-8002　FAX 018-865-2490
URL　http://www.kk-tomiya.co.jp

謹賀新年

平成30年元旦

Kyodo

秋田協同印刷株式会社

代表取締役　赤　川　靖　宏

〒010-0976
秋田市八橋南二丁目10-34
TEL.018-823-7477㈹
FAX.018-824-2864
https://www.akyodo.co.jp

謹賀新年

平成30年元旦

新日本法規出版株式会社

〒981-3195 仙台市泉区加茂1丁目48番地の2
TEL（022）377-1711　FAX（022）377-3620
E-mail：sendai-eigyo@sn-hoki.co.jp

「合格率」と「合格者占有率」は違います。

No.1であっても、日建学院がこだわるのは「合格率」です!

※合格率…受講生のうち、どれくらい合格されたのか?　※合格者占有率…合格者全体のうち、受講生合格者がどれくらい占めたのか?

合格率 一例

2016年度
1級建築士 設計製図試験
模擬基準達成者 1,929人中
合格者 1,164人

60.3%

合格者占有率

直近30年間 **No.1**
1987~2016年 合格者累計

当学院合格者の
1級建築士占有率
日建学院 1級建築士合格者
96,701人
全国累計1級建築士
164,244人

58.9%

私も日建で頑張りました!

真実はひとつ!!

結

努力を結果に結びつける

あなたの「夢」応援します
日建学院

資料請求・各種お問い合わせは下記までお気軽にどうぞ!

秋田校
TEL.018-801-7070
〒010-0001 秋田県秋田市中通6-7-9 秋田県商産会館2F

謹賀新年

平成30年元旦

由利建築士会

住　所　〒015－0011　由利本荘市石脇字尾花沢54－133　㈱工藤設計事務所内
ＴＥＬ　0184－23－3588　　ＦＡＸ　0184－23－3558

名誉会長	早川敏雄				
相談役	工藤次郎				
会長	高橋幸治				
副会長	佐々木光夫	佐藤孝一	佐藤誠		
専務理事	正木和美				
理事	佐藤久美	岡本末吉	木原忠悦	村上成夫	菊地久美
	佐藤吉則	加賀谷聡	阿部悟	熊谷俊一	伊藤一彦
監事	横山廣壽	佐藤繁	村上文男		

謹賀新年

平成30年元旦

仙北建築士会

事務局　〒014－0062　大仙市大曲上栄町13－60　㈱長岐建築設計事務所内
ＴＥＬ　0187－62－4320　　ＦＡＸ　0187－62－0213

会長	小田島誠			
副会長	茂木茂樹	菅原文雄		
常任理事	齋藤靖	高橋秀喜		
専務理事	湊泰正			
理事	長澤幸広	佐々木徹	佐藤賢一	戸嶋真紀子
	齋藤喜義	斉藤英人	仲野谷勝洋	藤原達朗
監事	泉谷昭一	相馬浩喜		
青年委員会	草薙渉			
女性委員会	小松奈美			

謹賀新年

平成30年元旦

株式会社 小田島工務店

あなたのために造ります

一級建築士事務所

代表取締役　小田島　誠

〒019－1234
秋田県仙北郡美郷町飯詰字北中島46番地5
TEL 0187－82－1315
FAX 0187－82－1660
URL http://www.odasima.co.jp

検査 JIO

謹賀新年

平成30年元旦

ISO9001認証企業

はりま建設株式会社

― すべては『ありがとう』のために ―

【本社】秋田県仙北郡美郷町土崎字中野際89-1
TEL.0187-85-2255

大仙支店　秋田支店　仙台支店

URL http://harima-kensetsu.jp

謹賀新年

平成30年元旦

興栄建設株式会社

代表取締役　齋藤　靖

本社
〒014－0072
秋田県大仙市大曲西根字西道地野502番地2
TEL(0187)68－2288㈹
FAX(0187)68－4488

謹賀新年

平成30年元旦

「自然と匠の調和」を目指しお客様第一主義で
自然環境に適した住宅造りをご提案いたします

一般建築・社寺・設計施工・土木工事一式

有限会社 佐々木工務店

代表取締役　佐々木長利

㈲佐々木工務店一級建築設計事務所

〒019－2334　秋田県大仙市木原田字中野153
TEL0187－77－2708　FAX0187－77－2710
大曲オフィス：
〒014－0034　大仙市大曲住吉町３番28号
TEL0187－73－5610

謹賀新年

平成30年元旦

信頼と技術で快適な空間を創造する
総合建築業　建築設計・施工
ISO9001：2008取得

株式会社 さとう

代表取締役 佐藤賢一
取締役会長 佐藤富彦

〒014－1412 秋田県大仙市藤木字東八圭68－5
TEL(0187)65－3232㈹ FAX(0187)65－3350
URL http://kksatou.jp/

謹賀新年

平成30年元旦

建設資材の総合商社

山二建設資材株式会社

代表取締役社長　田口清光
所長　大塚勝也

本社　秋田市御所野湯本三丁目1番5号
ＴＥＬ018（826）0300
大曲営業所　大仙市下深井字板口端39
ＴＥＬ0187（62）2631
ＦＡＸ0187（63）5944

謹賀新年

平成30年元旦

MCA

株式会社エムシーエー建築設計

代表取締役社長　佐藤 豪

〒014－0068
秋田県大仙市大曲飯田町１－８
TEL. 0187－62－5480
FAX. 0187－66－1955

謹賀新年

平成30年元旦

有限会社 館設計

代表取締役　松塚　榮

〒014－0055
秋田県大仙市大曲あけぼの町14－25
TEL0187－63－4933　FAX0187－62－4717

謹賀新年

平成30年元旦

株式会社 長岐建築設計事務所

代表取締役 菅原文雄
専務取締役 齋藤喜義
常務取締役 草薙　渉

〒014-0062
大仙市大曲上栄町13番60号
TEL0187-62-4320　FAX0187-62-0213

謹 賀 新 年

平成30年元旦

横 手 建 築 士 会

住　所　〒019－1108　横手市山内土渕字茂竹８－５　照井郁人建築設計事務所内
ＴＥＬ　0182－53－2650　　ＦＡＸ　0182－53－3450

相談役	大嶋輝男	金沢純治			
会長	照井郁人				
副会長	早山政美	菊池泰美	黒田稔		
理事	鈴石博実	川本一義	村田久	鈴木康悦	高橋信夫
	佐々木誠一	黒田稔	篠木肇	堀川新一	高橋宏司
	根田克利	北嶋清美	佐藤明	小野寺運悦	菊地満雄
	大類誠	高橋留男	齋藤智裕	佐藤方	岩村忠行
	小棚木悟	石橋忠	高橋敏	佐藤光義	高荒宏一
	鈴木政道	佐藤清張	鈴木ルリ子		
監事	吉水洋太郎	高橋松美			

賀 正

平成30年元旦

有限会社
久米一級建築設計事務所

代表取締役 久 米 征 子

〒013－0035
秋田県横手市平和町６番３号
ＴＥＬ(0182)32－1347
ＦＡＸ(0182)32－1319
E-mail kume2@sea.plala.or.jp

謹 賀 新 年

平成30年元旦

株式会社 近 建築設計事務所
一級建築士事務所

代表取締役　早 山 政 美

〒019－0503
秋田県横手市十文字町西原一番町８番地
ＴＥＬ (0182) 42－1388㈹
E-mail:konsekkel@h3. dlon.ne.jp

謹 賀 新 年

平成30年元旦

伊藤建設工業株式会社

品質ＩＳＯ9001
環境ＩＳＯ14001 認証企業

本　　社　秋田県横手市大町５番19号
ＴＥＬ 0182(32)3960㈹
秋田営業所　秋田市山王六丁目1番13号
山王プレスビル３階
ＴＥＬ 018 (863) 5530

謹 賀 新 年

平成30年元旦

YOKOTE 横手建設㈱

秋田県横手市前郷二番町７－13
Phone 0182(32)1697㈹

謹 賀 新 年

平成30年元旦

21世紀の「街･環境･明日･未来」を創造する
品質ＩＳＯ９００１
環境ＩＳＯ１４００１ 認証企業

創 和 SOWA CORPORATION 建設株式会社

本　社：〒013－0036 秋田県横手市駅前町13番8号
ＴＥＬ0182(32)2680
ＦＡＸ0182(32)7500

謹 賀 新 年

平成30年元旦

一級建築士事務所
M.A.C. 有限会社 ミツイ設 計

代表取締役　金 沢 純 治

〒013－0035　秋田県横手市平和町11－5
ＴＥＬ0182－33－1011
ＦＡＸ0182－38－8848
E-mail y-mitui@wonder.ocn.ne.jp

謹賀新年

平成30年元旦

有限会社
大嶋建築設計事務所

代表取締役　**大　嶋　輝　男**

横手市朝日が丘三丁目6－2
TEL 0182－33－1452
FAX 0182－33－2729
E-mail Oshima@ruby.ocm.ne.jp

謹賀新年

平成30年元旦

HANDA 株式会社 **半田工務店**

本　　社：〒013－0043
横手市安田字堰端９番地１
TEL0182－33－0300／FAX0182－33－0303

秋田営業所：〒010－0963
秋田市八橋大沼町１番３号
TEL018－863－8635／FAX018－863－8497

謹賀新年

平成30年元旦

信頼・創造
株式会社 **大和組**

秋田県横手市平和町10番30号
電　話　0182－32－3434
ＦＡＸ　0182－32－3499

謹　賀　新　年

平成30年元旦

湯沢雄勝建築士会

〒012－0037　湯沢市字沖鶴194－12　シグマ企画加納設計内
ＴＥＬ　0183－73－6797　　ＦＡＸ　0183－73－6837

相談役　佐藤清次
会　長　佐藤隆志
副会長　山脇成吉　山脇一樹
理　事　清水川　隆　伊藤　一　高橋秀夫　今　康博　佐藤重志
由利茂広　鈴木伸一　川村榮一　佐藤全子
加納大輔（青年部長）　清水川道子（女性部長）　由利　靖
藤原広幸　佐々木　修　加藤　康　加納静佳　阿部俊介
監　事　佐藤　進　高久和彦

謹んで新春のお慶びを申し上げます

平成30年元旦

一般財団法人
秋田県建築住宅センター

〒010-0001　秋田市中通二丁目３番８号（アトリオンビル５階）
ＴＥＬ：018(836)7851　ＦＡＸ：018(836)7852
ホームページ：http://www.akjc.or.jp
E-mail:info@akjc.or.jp

新入会員からのメッセージ

秋田中央支部
佐藤　　守

昨年初チャレンジで建築士免許を取得することができました。これを機に、もっと建築の深いところを勉強したく今年の春に入会させていただきました。

工務店を経営しているのですが、今まで現場で生きてきたのを武器に、これからは設計の方でも細かい納まりを確認しつつ、建築士会の先輩たちから色々なことを吸収し、仕上りや業務に繁栄できたらと思います。

一生勉強、一生青春　　この言葉を私の人生における姿勢として、これから先も心や頭を柔らかくほぐしながら勉学に励みたいと思います。

趣味：仕事、子育て

秋田中央支部
中村　圭悟

こんにちは。中村圭悟と申します。

愛知県名古屋市で設計事務所・建設会社勤務を経て 2017 年 4 月に帰郷しました。地元は能代市二ツ井町ですが、現在は家族と秋田市で暮らしています。

建築士会での出会いや繋がりを大切にし、様々な事を勉強させて頂きたいと思います。今後共よろしくお願い致します。

趣味：DIY・アウトドア（来春から釣りをはじめようか悩み中です）

秋田中央支部
渡邉　啓宇

再入会です。30 年を超えるブランクがあります。

60 歳を過ぎて、最近はもっぱらインドア派です。

先ず、小説を読むことが大好きです。特に三国志、水滸伝そして史記などの中国の歴史ものがこの上なく、鞄にはいつでも、なにがしかの文庫本が入っています。

もう一つは絵画鑑賞です。特に「印象派」が大好きで、日帰りで首都圏の美術展巡りをすることもあります。

お酒と肴には選り好みがありません。声を掛けていただければ、「どさでもちでぐ」タイプです。

◆建築士定期講習◆

平成 29 年度の（一社）秋田県建築士会が開催した建築士定期講習の概要（中間）を報告いたします。

CPD： 6 単位

月日	会場	定員	受講者
7 月 11 日（火）	秋田市文化会館	100	75
10 月 4 日（水）	北秋田市交流センター	60	49
11 月 9 日（木）	大仙市大曲交流センター	100	71
3 月 1 日（木）	秋田市文化会館	100	未開催

大仙市大曲交流センター

北秋田市交流センター

◆建築士試験◆

平成 29 年度の建築士試験の実受験数と合格人数　　（名）

項目		一級	二級	木造
学科の試験				
実受験者	（a）	99	164	2
合格者	（b）	9	42	0
合格率	（b）÷（a）	9.1%	25.6%	0.0%
設計製図の試験				
実受験者	（c）	20	78	0
うち、製図から	（d）	11	36	0
最終合格者	（e）	1	43	0
最終合格率	（e）÷ {（a）＋（d）}	0.1%	21.5%	0%
全国の状況		10.8%	24.3%	40.1%

平成 29 年度の二級建築士合格者は 43 名で、昨年の 35 名を大きく上回りました。また、木造建築士は合格者無し、一級建築士合格者は、 1 名（昨年 13 名）の方が合格されました。

◆入会案内パンフレット◆

新しく新入会員向けの入会パンフレットを作成しました。
表面が本部の事業内容、裏面が各地域会の活動状況です。
現在、能代山本建築士会と秋田中央建築士会の案内が完成しております。（※ＨＰ掲載）

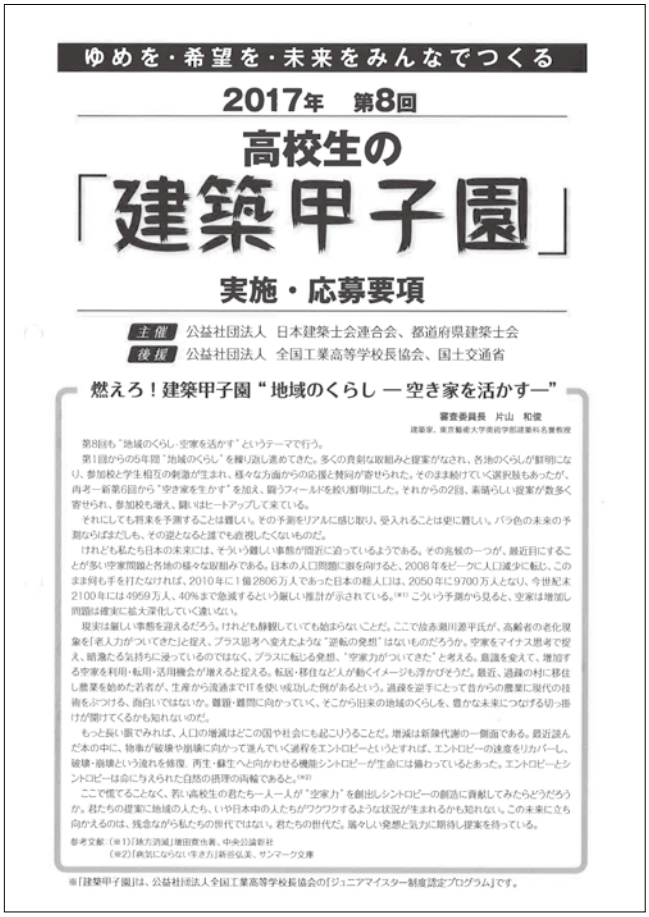
◆建築甲子園◆

2017 年　第８回　高校生の「建築甲子園」が実施されました。今年のテーマは、「地域のくらし　－空き家を生かす－」です。

今年は、秋田県立横手清陵学院高等学校より６点の応募がありました。秋田県予選の選考委員は、事業委員会の広報・教育支援部会の委員９名による採点方式で行われました。

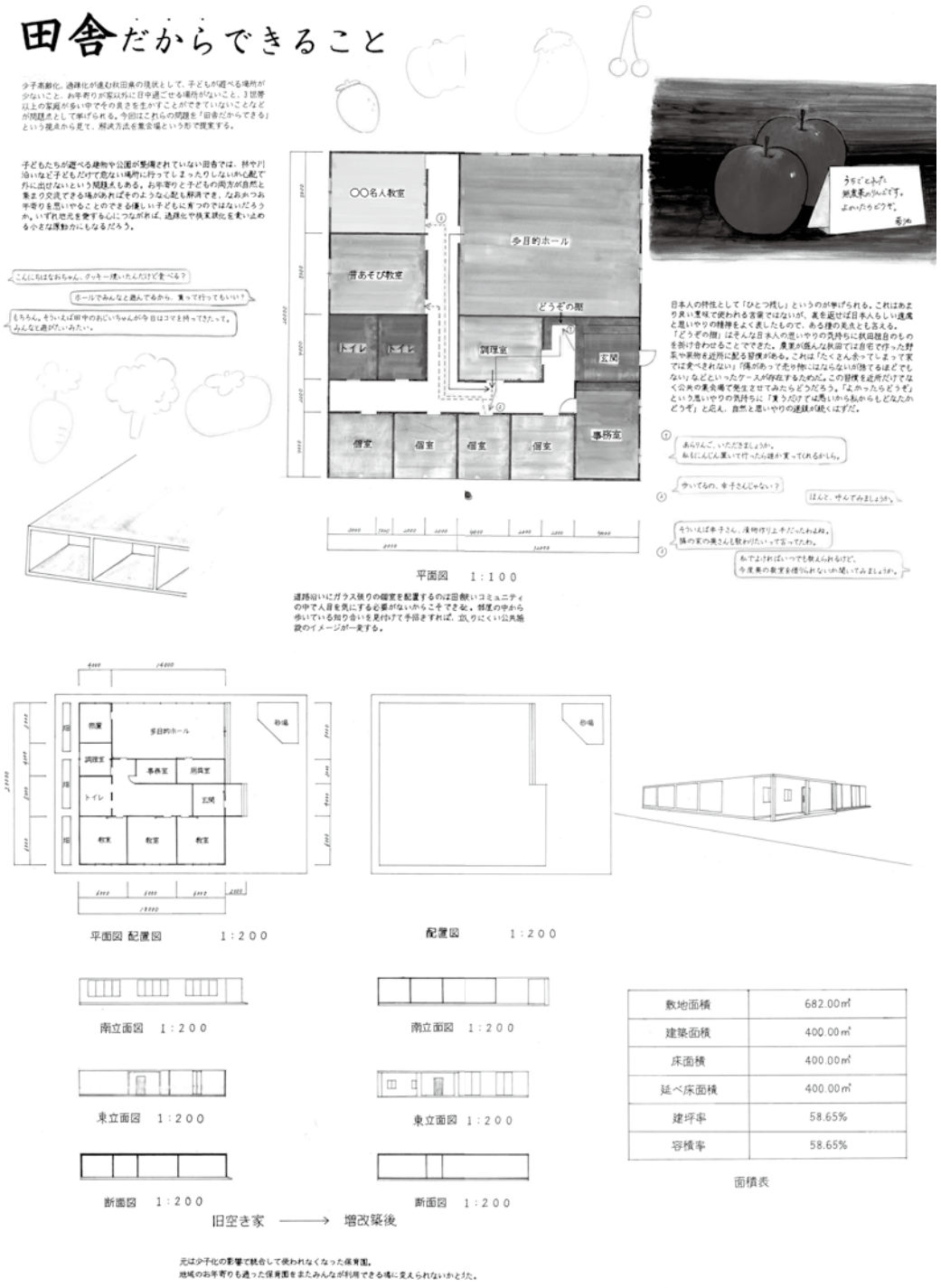
結果、次頁の２点が県予選を勝ち抜き、全国大会へ進出いたしました。

審査委員長：菊池泰美（事業委員会　広報・教育支援部会長）
審　査　員：阿部悦史郎（鹿角）、三浦英人（大館北秋田）、田村喜代宣（能代山本）、
櫻庭星治（秋田中央）、佐藤孝一（由利）、戸嶋真紀子（仙北）、黒田　稔（横手）、
由利　靖（湯沢雄勝）



◆田舎だからできること

秋田県立横手清陵学院高等学校　　佐藤　萌愛　さん、田中　柚　さん



≪講評≫

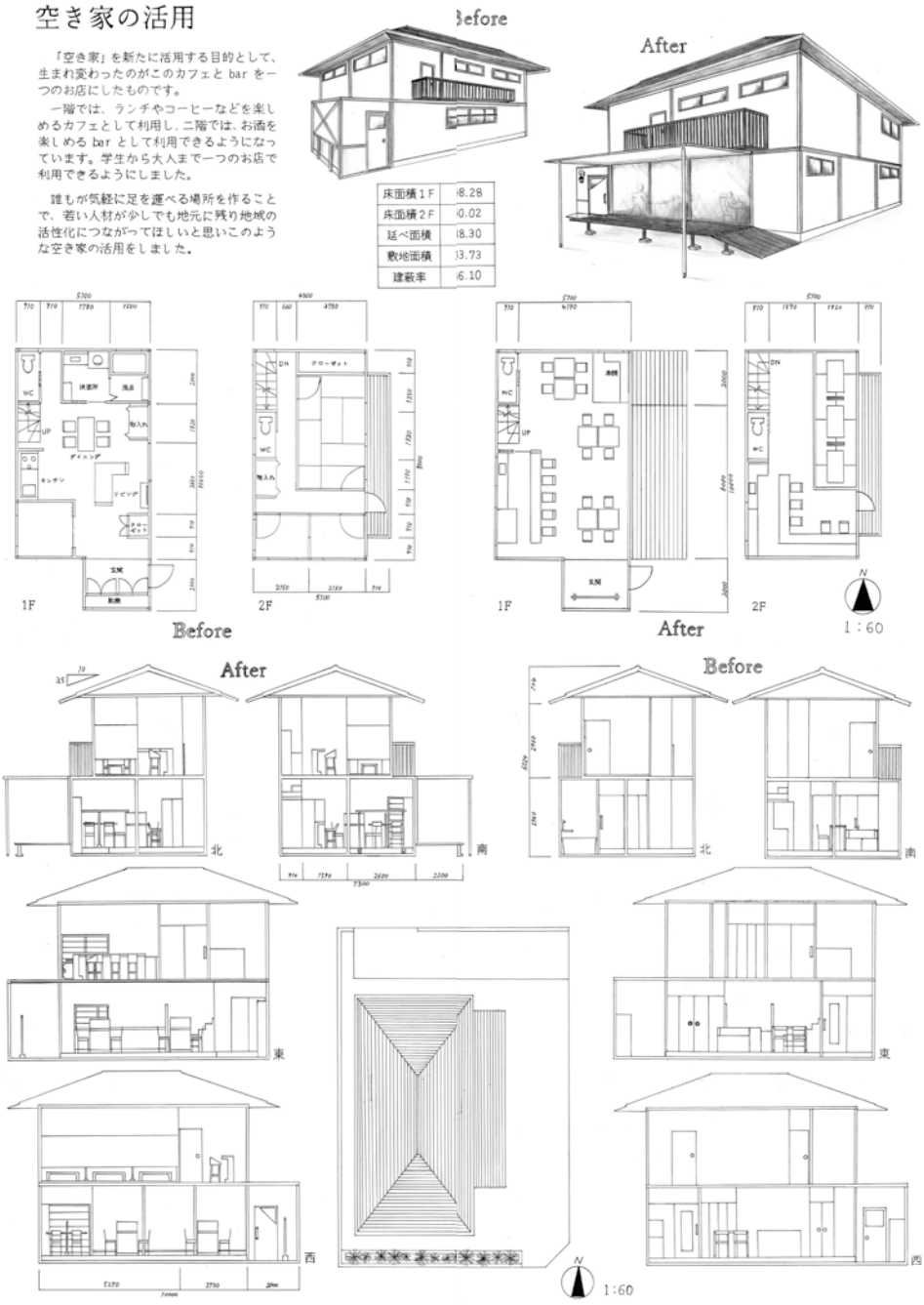
「田舎だからできる」との発想から、地方の特徴や課題をとらえ、建物活用による解決策がよく表現されている。（保育園　→　集会所）

評価点：113.6 点　＋　審査員別最高得点：6.5P

◆空き家の活用

秋田県立横手清陵学院高等学校

草薙　祥哉　君、佐藤　拓麻　君、柴田　健翔　君、佐々木　大樹　君



≪講評≫

既存空き家をリノベーションし、地域住民が集う施設への提案は現実性がある。また、表現がわかりやすい。（住宅　→　カフェバー）

評価点：105.2 点　＋　審査員別最高得点：２P

尚、全国大会の結果は、（公社）日本建築士会連合会のホームページで公表されます。

◆建築士のための講習会◆

CPD：各４単位

■趣　旨

（公社）日本建築士会連合会では､「総合図」に関する全国的なアンケート等を実施したところ､「総合図」の作成について関係者の認識が必ずしも共通化していないことが分かりました。

平成６年に「設計と施工を結ぶ～新しい建築生産に対応した品質情報伝達の提案～」を発行して「総合図」の作成を提案した時期から、工事内容は多様化、高度化している現状に鑑み、改めて「総合図」の考え方、ポイントなどを整理し、それを取りまとめた上で、公表し、関係者の共通認識の確立に寄与することが適切との結論に至り､「総合図作成ガイドライン」を作成してより良い建築物を作り上げるために設計者、施工者、発注者等に提供をすることとしました。

ガイドラインの作成のために、学識経験者、設計者、施工者、設備関係者から構成する「総合図作成のためのガイドライン編集部会（部会長：嘉納成男／早稲田大学）」を設置し、平成 28 年１月から８回の部会、10 回の幹事会での協議を経て、この度発刊されましたので、当建築士会においても会員をはじめ関係方面へ同ガイドラインの周知等の観点から講習会を開催するものです。

■主　　催　（一社）秋田県建築士会
■共　　催　（公社）日本建築士会連合会
■後　　援　秋田県、（一財）秋田県建築住宅センター
■実施内容　※いずれも、DVD 放映講習です。
「総合図作成ガイドライン解説」講習会
平成 30 年２月 20 日（火）　14：00 ～ 16：10
■定　　員　60 名
■会　　場　ユースパル　２階大研修室　秋田市寺内神屋敷 3-1
■受 講 料　会員 4,000 円　非会員 7,000 円　（テキスト代 3,218 円含）
■ CPD 単位　２単位認定です。

FAX：018-827-3873　「総合図作成ガイドライン」解説講習会【DVD 講習】申込書

フリガナ お名前		CPD 単位取得	・する(番号　　) ・しない
受講区分	・ 会員(4,000 円)　　・ 非会員(7,000 円)		
住　所	〒		
電　話			
FAX	－　－	※受付後、受講票を送付しますので必ず記入してください。	

◆二級建築士、木造建築士の登録業務◆

４月１日より業務を開始しております。

【主な業務内容】

（1）二級建築士・木造建築士登録事務（新規、変更）

（2）二級建築士・木造建築士登録簿等の閲覧事務

（3）二級建築士・木造建築士登録証明書発行事務

【手数料について】

（1）二級建築士・木造建築士の登録申請手数料

新規登録申請による「免許証明書」の発行	19,200 円
事項変更申請による「免許証明書」の発行	5,900 円
再交付申請による「免許証明書」の再発行	5,900 円
免許証の書換えによる「免許証明書」の発行	5,900 円
住所等の変更届の登録変更	無料

◆既存住宅状況調査技術者講習の実施◆

宅地建物取引業法が一部改正され、平成 30 年４月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」に関する説明が義務付けられます。そして、「既存住宅状況調査」の実施は、登録講習実施機関の講習を修了した建築士にのみに認められており、建築士の新たな業務として期待されております。

本講習は、主催が日本建築士会連合会で行い、本会が開催協力となり毎年開催するものです。本年は、下記の日程で４回開催をしております。次年度以降は、毎年継続的に開催を予定しております。

《新規講習》　CPD5 単位

●日　程：第１回　平成 29 年５月 30 日（火）　57 名
　　第２回　平成 29 年９月 27 日（水）　37 名

●時　間：受付 9：40 ～　講習 10：00 ～ 17：40（昼休憩 12：20 ～ 13：10）

●会　場：秋田市文化会館　４階　第６会議室

●受講者：建築士（一級、二級、木造）が対象

●受講料：21,600 円【WEB 申込：21,060 円】（税込、テキスト・登録料を含む）

《移行講習》　CPD3 単位

●日　程：第１回　平成 29 年６月 16 日（金）　30 名
　　第２回　平成 29 年９月 21 日（木）　６名

●時　間：受付 10：40 ～　講習 11：00 ～ 16：10（昼休憩 12：10 ～ 13：00）

●会　場：秋田市文化会館　４階　第６会議室

●受講者：国土交通省の長期優良住宅化リフォーム推進事業のインスペクターとして講習登録団体に登録されている建築士
　　※建築士会登録以外の、他団体登録インスペクターの方でも受講できます。

●受講料：17,280 円【WEB 申込：16,740 円】（税込、テキスト・登録料を含む）

◆県内市町村が行う木造住宅耐震診断支援事業◆

平成 29 年度より、９つの県内市町村において新たに木造住宅耐震診断支援事業が開始されました。本事業は、対象市町村の依頼により、本会が耐震診断希望者の住宅に診断技術者である会員を派遣し診断を行う事業で、依頼者の自己負担額は一律１万円となります。

速やかな派遣体制を構築するため、あらかじめ派遣可能な会員を募集したところ、28 名の方が参加登録しております。しかし、次年度以降は 18 市町村に増えることから体制としては不十分で、更なる体制整備を図るため参加登録会員を増員することが必要となりますので、多くの会員の登録をお願い致します。（※登録用紙は、ＨＰに掲載）

【対象となる市町村】

○県　北：鹿角市、北秋田市、小坂町　　○県中央：男鹿市、潟上市、井川町

○県　南：大仙市、横手市、美郷町

【診断を行う要件】全てに該当する方

・（一社）秋田県建築士会の会員であること

・建築士事務所に所属し、その建築士事務所が耐震診断業務を受託可能であること

・県が認める講習会を受講し、秋田県木造住宅耐震診断技術者として登録していること（平成 29 年３月 10 日から登録開始）

※登録はこちらから、県ＨＰ：http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/22034

【診断方法】

・「2012 年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」一般診断法による診断プログラム　Wee2012（(一財）日本建築防災協会発行）による

・委託市町村が別に定める仕様書、及び当会耐震診断実施要領による。

また、木造住宅耐震診断の実施要領の策定、及び報告書の様式など、本事業以外にも活用できるよう整備を行っております。

○今年度の受諾状況

12 月末現在、７市町村より 19 棟（１棟中止）の診断を受託しております。

・鹿角市　１戸	・北秋田市　２戸	・小坂町　０戸
・男鹿市　１戸	・潟上市　委託無し	・井川町　２戸
・大仙市　４戸	・横手市　５戸	・美郷町　４戸

○診断登録者数　　計 28 名

・鹿角　２名	・大館北秋田　２名	・能代山本　４名
・秋田中央　３名	・由利　０名	
・仙北　８名	・横手　８名	・湯沢雄勝　１名

編　集　後　記

能代山本建築士会　**櫻庭　　徹**

皆様がこの文章に目を通すのは、新たな歳、平成 30 年を迎えている事でしょう。私が実際パソコンの前で頭を抱えているのは、平成 29 年の年末です。どうでしょう、良いお正月でしたか？たぶん私はいつもの仲間達と、正月から飲み会の連チャンで、体重が増加していないか今から心配です。

この一年、思い返すと色々な出来事がありましたが、無事に新年を迎えられるのが、何よりの幸せなのかもしれません。1963 年生まれの私は只今 54 歳、平成 30 年には 55 歳を数えます、どこにどう歳を取ったのか判りませんが、数字だけは確実に増えるものです。気持ちだけは若いつもりでも、身体がついて着いて行かない場面が増えた様に思います。無理をせず、楽しみながら仕事を継続できれば、有り難い事なのでしょうが・・・。個人的には、親父の一周忌を機に、墓石を建立・納骨を無事終えたのが平成 29 年最大の行事だったと思います。家族と親戚一同が会すと、自分の立ち位置を感じます、それなりの立場にいることを。やはりこれも、それなりの年齢になった事の証拠なのかもしれません。視点を変えれば、社会的にも同様の事なのかなと思います。今更なのでしょうがね。新年早々あまり相応しい話題になってしまいました、何卒お許しください。新たな年はワン（犬）ランクアップ出来る様、気持ちも新たに何事にも向かいたいものです。

まとまりのない文集に終始しましたが、会員の皆々様にとりまして、実り多き年になります様祈念いたしまして終わりにします。

平成 29 年度　優良建物見学会

大館市　平成 29 年 11 月 12 日（日）

ニプロハチ公ドーム

完成から約 20 年、杉集成材で構成されるアーチは、やわらかな空間を演出

壮大なドームを見上げ、思わず口が開く？

鳥潟会館

庭園を廻るアプローチ

ボランティアガイドさんの解説付

地下の収蔵庫　普段は見えない

ガイドさんのお話が楽しかった……、素晴らしい！

桜櫓館

縁側の小屋組：12.3 mのケヤキ床板も圧巻だが、二本の梁で 6 間半の空間を演出

展望台へ階段　とても狭い

天井仕上、カーテンレール、照明器具

広間から廊下へ通じる欄間？

装飾窓

優良建物見学会にて　　大館市：桜櫓館（写真中央が、館長の成田欽治氏）

あきた建築士会ニュースNo.149（2018年１月号）

発行／一般社団法人秋田県建築士会　住所／〒010-0001　秋田市中通二丁目３－８秋田アトリオンビル５階（一財）秋田県建築住宅センター内　電話／018－827－3718
編集／一般社団法人秋田県建築士会事務局　　発行日／平成30年１月25日　　印刷／秋田協同印刷株式会社